平成25年度　会報

学園創立110周年記念号

学芸



CONTENTS

●会報『学芸』第18号
発刊にあたり ……2
会長　仲西　晃
●ご挨拶 ……3
理事長　岡本利雄
●平成24年度高等学校学事報告……4
高等学校　校長 武田一仁
●平成25年度PTA活動計画……5
PTA会長　中田栄蔵
●生徒自治会行事 ……5
●大阪学芸高等学校
募集対策部報告 ……6
●大阪学芸中等教育学校
募集対策部報告 ……6
●創立110周年記念事業について
事務局長　中谷清司 …7
●活動報告 ……8
●行事報告 ……9
●ご来賓恩師の賀寿を祝う会 …11
●現職先生の今 ……12
●卒業生の近況報告 ……13
●教職員OB・OGの近況報告 …14
●卒業生からの手紙 ……14
●顧問元校長・卒業生投稿記事 …15
●慶事 ……17
●クラブ活動近畿大会・
全国大会・世界大会……18
●玩具デザイナー
「加藤裕三」軌跡 ……20
●年会費等納入のお願い ……21
●訃報 ……22
●平成25年度
年間行事予定のご案内 …23
●平成24年度 決算報告 ……23

第18号
2013

大阪学芸高等学校同窓会
（成　器　会）

発行所：〒558-0003　大阪市住吉区長居1-4-15
TEL06(6693)6301　FAX06(6693)5173
URL http://www.gakugei-seikikai.jp

会報第18号発刊にあたり



大阪学芸高等学校同窓会（成器会）
会長 仲西 晃

会員の皆様にはますますご清祥の事とお慶び申し上げます。平素は同窓会運営にご高配を賜り誠に有難う御座います。

政府新政権の安倍晋三内閣が、市場からアベノミクスと呼ばれている、3本の矢（金融政策・財政政策・成長戦略）で、日本を再生させるといわれております。

「アメリカがクシャミをすると日本は風邪をひく」とよく言われます。成功するか否かは、アメリカ次第でしょうか。いずれにしてもグローバル社会に違いないのですから、一国の政策ですべてが解決するとは思えず、世界各国の強調体制が必要でしょう。

少子高齢化時代を迎えて、ますますお年寄りが増えて、若者が少ない社会になると予想されております。難問山積の世の中ですが、若者に希望を与える、お年寄りが安心して暮らせる社会の構築を祈ります。

なお又東日本大震災の被災地の一日も早い復興を願っております。被災された方々には心からのお見舞いを申し上げます。

一方、明るい話題としては、昨年のノーベル医学生理学賞が日本人のしかも大阪出身の山中伸也教授に授賞されました。

山中伸也教授は「今まで治らない病気を治せる様にしたい事が夢であった。やっとｉｐｓ細胞の発見で夢の再生医療の扉が開かれた。」と言っておられます。これは失敗しても諦めず挫折の連続から追い続けて発見に成功したものでした。

つい最近、日本近海の海底に有る「メタンハイドレート」の採取に成功したと報じられました。埋蔵量は、日本近海全部で現在の日本の天然ガス年間使用量の１００年分に匹敵する量だそうで、日本は世界最大のエネルギー資源大国になる可能性を持っているそうです。

又南鳥島周辺の海底から超高濃度のレアアース泥が発見されたそうです。この様に明るいニュースもあり、今すぐには実現できなくても5年後、10年後或いは20年後には、ものになりそうな話で、大いに期待されております。

さて、今年6月17日は学園創立百十周年記念の日になり、10年の節目の年になります。

学園創立百十周年記念の祝いの行事として、来る7月19日・大阪中央体育館におきまして「学芸フェスティバル」の開催が予定されております。是非会員皆様方お誘い合わせの上ご参加頂きます様ご案内申し上げます。（ご出席頂く場合は、前もっての申し込みが必要ですのでご注意下さい。）

１１０年間、校祖遠藤三吉先生の健学の精神「徳器成就」、そして教育理念である「質実剛健」「文武両道」は我が母校の伝統として受け継がれております。勇壮とした立派な校舎が立ち並び、青々としたグランドで、のびのびと学ぶ、生徒の皆さんを見る時、我々の時代（昭和30年代）の姿を思い出します。辛かった事、楽しかった事、級友と、恩師との思い出が、脳裏に蘇ります。校名が成器から大阪学芸に変更された事と、男子校から男女共学校へと変わりました事は、いささか時代の流れを感じます。

又、母校創立百周年を記念に、森寛紹師・普賢院ゆかりの高野山に学園関係物故者慰霊碑建立が計画されてから10年、建立されてから6年が経過致しました。今や毎年8月に高野山普賢院で一泊して、慰霊碑に参拝する事が同窓会のメイン行事として定着して参りました。２００４に世界遺産に登録された、高野山は外国人観光客も年々多くなり、毎年参拝者が増加している様に思われます。高野山にお参りの際は是非我々の慰霊碑にもご参拝下さい。裏参道の通り（与謝野晶子歌碑脇）に案内板を設けております。

ホームページも立ち上げて3年目を迎えます。担当して頂いております、田中康年先生（元教員）のご努力で、改善に改善を加えて頂き素晴らしいものになってまいりました。

会員の皆様方には、時々ホームページを開いて頂き、同窓会の最新情報を受け取って頂きます様お願い致します。

将来の電子化時代に遅れる事のない様に会員皆様と共に勉強して、より立派なホームページにしていかねばなりません。何卒ご支援とご協力をお願い申し上げます。

現在の大阪学芸高等学校同窓会（成器会）は、成器学園同窓会として伊丹啓次先輩と渡壁辰夫（元校長）先輩のご尽力で昭和49年9月8日に発足されました。来年つまり平成26年は同窓会発足40周年になります。伊丹啓次・渡壁辰夫両先輩も故人となられ、やはり40年と言う歴史の重みを感じます。来年は40周年を記念した、何かを計画したいと思っております。その節はご協力・ご支援を節にお願い申し上げます。

今後の同窓会の運営方針としましては、会員相互の親睦を図る懇親会の充実と現役の生徒の皆さんにお役に立てる様な支援活動に力を入れて行きたいと思っております。

若い卒業生の皆さんにお願いとして、もっともっと同級生又は同期生の親睦の会（同窓会）を開催して下さい。同窓会（成器会）は、出来るだけの協力をさせて頂きます。

最後になりましたが、会員皆様方のますますのご健勝とご活躍及びご多幸を心からお祈り申し上げまして、会報18号発行にあたりご挨拶と致します。

ご挨拶



学校法人大阪学芸
理事長
岡本利雄

1. はじめに

同窓生の皆様には、平素より母校への多大なるご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本学園は本年6月17日に、創立百十周年を迎えました。幾たびの困難を乗り越えて今日の発展を見ていますことは、これまで学園を支えて戴いた皆様のご尽力の賜物と、改めて感謝申し上げます。

2. 本年度の生徒募集結果

昨年度は授業料無償化の拡大等の追い風もあり、本校に多数の志願者が集まり、最終的な入学者数が募集定員（４４０名）を３００名以上も上回る結果となりました。少子化構造の中で、本校がこれほどの人気を得たことは、大変有難いことではありますが、その反面、2年連続で募集定員が大幅超過する事態は、生徒収容能力の観点からは、好ましい状況とは言えません。そのため、平成25年度の生徒募集では成績基準の引き上げによる、志願者数の抑制策を講じた結果、本年度、大阪学芸高等学校は５５０名の入学生を迎えました。募集定員（５４０名）を10名上回る人数です。

今後は、入学したすべての生徒が満足して学校生活を送れるよう、学園を挙げて、一層の教育内容の充実を図りたいと考えます。

3. 教育環境向上の取り組みについて

高等学校と中等教育学校の生徒総数が2千名を超える状況下で、限られた施設を有効に活用することが、学園運営上の重要な課題となっています。昨年11月より、これまで倉庫として利用していたグランド北隣地の学園所有地の2棟の建物を取り壊し、新たに3階建ての「セミナーハウス」棟の建設を進めて参りましたが、4月3日に無事竣工しました。「セミナーハウス」は中等教育学校が講習・選択授業等に使用し、ゆとりの出来た「百周年記念会館（別館）」を、高等学校の3クラスがHR教室として利用しています。

また、3月後半から4月初旬にかけて、本館4階の格技室・柔道場を大改修し、「音楽室兼吹奏楽部練習場」を新設しました。この改修工事は、吹奏楽部員の人数の大幅増による、練習場の確保を目的としたものです。吹奏楽部は部員数が百名近くにのぼり、従来の西館4階の音楽室のスペースでは、全体練習を行うことが不可能となり、その都度、外部施設を借りることを余儀なくされて来ました。しかし、練習効率や費用面を考えると、校内で練習場を確保することが望ましいとの判断のもと、音楽室の本館4階への移転設置を決定し、西館の旧音楽室は改修の上、柔道場を設置しました。また空手道部は南館・体育館を新たな練習場として使用しています。新しく設置された音楽室兼吹奏楽部練習場は、ほぼ完全な防音が施され、百人規模の全体練習を行える充分な広さを有しています。優れた練習環境のもと、吹奏楽部の諸君には一層の技術の向上に努め、コンクール等で優秀な成績を収めることを期待します。

さらに、本年度は本館・地下ホールおよび食堂のリニューアル工事を行ないます（8月中旬完成予定）。このリニューアル事業は、既にご案内のとおり、創立百十周年記念募金の対象事業として実施するものです。内装や設備を一新し、明るく綺麗なホール・食堂に生まれ変わる予定です。さらに食堂のリニューアルに合わせて、「食育」の観点から、「美味しく」・「安心で」・「飽きのこない」のコンセプトを打ち出しました。リニューアル後は、新たな委託食堂業者によって、今まで以上に生徒が満足する料理が提供されることでしょう。学校にお越しの際は、ぜひお立ち寄り下さい。

この他にも、良好な教育環境を維持・向上させるために、幾つかの設備更新事業等を予定しています。

4. 教員力の向上を目指して

昨年の同窓会報でもお伝えしましたとおり、平成24年度より学園が本格的に取組みを始めたのが「教員力の養成」です。教育活動の担い手である教員自身が、主体者意識をもって学園を牽引して戴く必要があります。そのような観点に立ち、「新任教員研修」・「管理職研修」・「事務職員研修」をそれぞれ実施し、平成25年度についても、すでに「新任教員研修」を実施致しました。さらに7月・12月には、「共に育つ」講座の開催を予定しています。

私学を取り巻く情勢が目まぐるしく変化する時代にあって、教職員の自発的意欲を喚起し、自らの持てる能力と、集団の力を遺憾なく発揮できる職場環境の形成を図りつつ、新しい時代の対応準備としての「学び」の気風を育てることが大切だと考えます。「共に育つ」講座は、このような趣旨に基づき、6回の講座を予定しています。教育・経済・環境・労使問題など、多岐に亘る分野のテーマに基づき、各回とも、大学名誉教授・教授の先生方を始めとする専門家に講師を務めて戴く予定です。この講座に参加することで、教職員が自己の研鑽に努め、今後の教育活動に、是非とも役立てて戴きたいと願っています。

5. 創立百十周年記念事業について

「平成24年度同窓会報」・「学園広報臨時第11号」・「学園広報臨時第12号」を通じて既にご案内のとおり、現在、創立百十周年の記念事業が、関係者のご尽力により鋭意進行中です。記念事業は、「記念行事」・「学園歌制作」・「寄付金事業」の三本柱から成っています。このうち寄付金につきましては、多数の皆様より厚志を賜っております。この場を借りまして、厚く御礼申し上げます。また「記念行事」は平成25年7月19日（金）、大阪市中央体育館において実施が正式に決定しました。その際、新しい「学園歌」も披露される予定です。「記念行事」は楽しいプログラムを準備し、さらにシンガーソングライター、「ＲＡＫＥ（レイク）」をゲストに迎えてのステージも用意されています。同窓生の皆様には、記念行事への奮ってのご参加をお待ち申し上げます。

6. むすび

創立百十周年の節目の年に当たり、学園を取り巻く状況は順調に推移しています。学園財政も堅調ですが、安定した財政基盤は募集定員を充足することによってもたらされます。その意味では、高等学校が府内有数の人気を集める状況は喜ばしい限りですが、これは本校の教育内容が広く生徒・保護者の支持を得ていることの、何よりの証左でもあります。百十年の伝統に培われた良き校風を守りながらも、進取の気性に満ちた理想の教育を追求することで、学校法人 大阪学芸は、次の百五十年、二百年へと、発展の歴史を積み重ねて行くことでしょう。同窓生の皆様におかれましては、今後とも学園の教育活動に温かいご支援を賜りますことを切にお願い申し上げます。

最後になりますが、同窓生の皆様の一層のご活躍と同窓会の益々の発展を祈念致しまして、私の挨拶とさせて戴きます。

平成24年度 高等学校学事報告



校長
武田一仁

日頃は、同窓会の皆様より、本校の教育活動にご支援を賜りまして深く感謝いたしております。平成24年度は1854名で出発しました。前年は1488名でしたから、366名もの生徒数が増加したことになります。人気が出てきたことにたいへん喜んでおります。

本校の〈校訓〉である「豊かな人間性をはぐくみ、社会に貢献できる青年を育成する」を達成することを目標として、その中味である〈大阪学芸　行動理念〉「1．学校教育を通じて、地域・社会からの信頼や期待に高い水準で応えられる学園を創ります。」「2．生徒が、何歳になっても誇りを持って語れる学園を創ります。」「3．教職員が、生徒の満足を自らの喜びにできる学園を創ります。」の3項目を具現化するために教職員一同努力いたしております。

〔昨年(平成24年)度の本校の様子について〕

私も勤務させてもらって5年を終えました。5年間を見ていまして生徒たちはよい方向に変わってきていると思っています。毎朝、玄関に立っていますが、最近は特ににこやかに挨拶してくれる生徒も増え、毎年、よくなってきていることを実感できるようになりました。一例ですが、昨年の11月に登校中のM学院高校の具合の悪くなった生徒のために救急車を呼び、その生徒を病院まで送り出し、自身はM高校までカバンを届けるという善行行為をした女生徒がおり、その高校の教頭よりのお礼の電話で判明しました。これからも「豊かな心を育む教育」をもっと実践していきたいと考えています。

3年目を迎えた特技コースの生徒たちは頑張っています。特に重点クラブでは空手道部の活躍がめざましく、全国高等学校総合体育大会（インターハイ）において、久保弘樹君が【男子個人形】で優勝、他の生徒たちも多数活躍しました。特に久保君はアジア大会も優勝しており、4冠を達成しました。地域活動では〔ゴルフ〕の鍋谷太一君が関西ジュニアゴルフ選手権競技で優勝、関西オープンで31位（アマで2位）、石山千晶さんも活躍しています。〔将棋〕では西山朋佳さんがマイナビ女子オープン（女流棋界夏の一大イベント）の本戦に出場〔12名〕して女流名人の里見香奈さんに対局して敗れましたが、健闘しました。〔女子アマチュアボクシング〕では佐伯霞さんが全日本女子アマチュアボクシング選手権大会に優勝し、チャンピオンになりました。〔フィギアースケート〕では冬のインターハイに出場した細田采花さんが6位に入賞、湯浅諒一君も13位になりました。その他、いろいろな分野で活躍しています。

同じ重点クラブでは、吹奏楽部が、大阪21世紀協会主催の「大阪春めぐり　水都大阪春の舟運まつり」に出演し、船の上で演奏しました。

また、新しく設立した国際コースでは初年度に留学した生徒は5名でしたが、最近では20名近くにまで増加してきました。今春には1期生が卒業し、すべての生徒が語学を生かして大学に進学しました。

〔特技コースの1期生の報告〕

特技を生かして入学試験に臨むことを前提としたコースのため、国立高知大学や関西大学・関西学院大学・同志社大学という難関大学への合格もありましたし、他の生徒たちも希望したいろいろな大学へ進学しました。また、進学を希望しない生徒は持っている特技をより磨くために活動を充実させています。

〔新国際コース1期生の報告〕

留学によりマスターした語学力を生かして関西学院大学・関西大学・立命館アジア太平洋大学・関西外国語大学へ合格しました。

【生徒募集状況について】

平成25年入学試験においては、教室数の関係と行政の指導を考慮して成績を上げました。その結果、募集定員を540名として550名の入学者がありました。

今後、学則定員をにらみながら、募集活動を行いますのでご協力をよろしくお願いいたします。

【今年度の特徴】

〔体育祭に京セラドームを使用〕

在校生が多くなり、安全面を考えて京セラドーム大阪で実施しました。多数の保護者のご来場がありました。

〔女子サッカー部創部について〕

4月より監督としては「セレッソ大阪」から元Jリーガーの眞中靖夫氏を招き、コーチとしては「なでしこリーグ」のストライカーで全日本代表選手としてアテネオリンピックに出場、ワールドカップも2回出場された大谷未央氏を迎えてクラブ活動を開始しました。本校といたしましては「女子サッカー界の裾野を広げること」を視野に入れながら、全国大会でもよい成績を残したいと考えています。初心者も歓迎しますので、積極的な入部をお願いいたします。

最後になりましたが、今年は3年ぶりに大阪大学への現役合格もありました。今後も生徒や保護者の皆さんの「夢と希望」の実現化に向けて頑張りますので、同窓会のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

主要大学合格一覧

平成24年度卒業生479名の進路状況

４年制大学	329
短期大学	40
専門学校	46
就職	5
未定（浪人含む）	59
合　計	479

	大　学　名	現	浪	計
国公立	大阪大学	1	1	2
	大阪市立大学	1		1
	和歌山大学	2		2
	筑波技術大学	1		1
	山形大学		1	1
	鳥取大学		1	1
	高知大学	1	1	2
	合　計	6	4	10

	大　学　名	現	浪	計
関東私大	早稲田大学	1		1
	東京理科大学	1		1
	中央大学	1	1	2
	東海大学	1		1
	日本大学		1	1
	松本歯科大学	2		2
	合　計	6	2	8

	大　学　名	現	浪	計
関関同立	関西大学	37	7	44
	関西学院大学	10		10
	同志社大学	5	1	6
	立命館大学	1		1
	合　計	53	8	61

	大　学　名	現	浪	計
4女子大	同志社女子大学	0		0
	京都女子大学	7		7
	武庫川女子大学	4		4
	神戸女学院大学	1	4	5
	合　計	12	4	16

	大　学　名	現	浪	計
産近甲龍	京都産業大学	16	3	19
	近畿大学	79	6	85
	甲南大学	5	1	6
	龍谷大学	13	3	16
	合　計	113	13	126

	大　学　名	現	浪	計
外大	関西外国語大学	32		32
	京都外国語大学	6		6
	合　計	38	0	38

	大　学　名	現	浪	計
摂神追桃経工	摂南大学	41		41
	神戸学院大学	4		4
	追手門学院大学	17		17
	桃山学院大学	61	2	63
	大阪経済大学	11	1	12
	大阪工業大学	21	1	22
	合　計	155	4	159

平成25年度ＰＴＡ活動計画



ＰＴＡ会長
中田栄蔵

同窓会の皆様には、入学式・卒業式、その他いろいろな行事に、ご参加・ご協力いただき有難うございます。

本年度ＰＴＡ会長を務めさせて頂く事になりました中田栄蔵です。

新役員そして先生の皆様と共に一丸となって活動して参りますので、本年度も引き続き変わらぬご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

左記にＰＴＡ活動報告を致します。

5月…ＰＴＡ総会
6月…学級委員総会・新旧役員懇親会・1，2学年懇談会・スポーツ大会(21日)
7月…大学見学会(6日　近畿大学、関西大学)・百十周年記念行事「社会見学」(19日)・3学年懇談会・ＰＴＡ新聞「きずな」(Ｎ０，1)発行
8月…公費助成運動の取り組み(～11月)
9月…文化祭(14日、ＰＴＡバザー)・大阪学芸サポーティングマッチ・体育祭
10月…進路説明会(26日)
11月…生活委員会講演会(30日)
12月…ＰＴＡ新聞「きずな」(Ｎ０，2)発行・私学助成国会請願
1月…新年会・私学保護者連合会に参加・私学助成府議会提出に参加
2月…卒業式参列・ＰＴＡ新聞「きずな」(Ｎ０，3)発行
3月…役員会
4月…入学式参列

この他に、風紀(下校)指導に参加します。

今後、益々、成器会がご発展することを願い、皆様方のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

平成25年度 生徒自治会行事

スポーツ大会

日時：6月21日(金)

ここ数年秋に開催されていたスポーツ大会を今年は6月に実施することとなりました。本校グランド、体育館、スポーツコート、長居運動場、長居競技場内体育館、大領グランドにてソフトボール、キックベースボール、バレーボール、バドミントン、卓球、ドッジボール、サッカーなどの競技をクラス対抗で行います。

文化祭

日時：9月14日(土)

本校グランド・体育館・ホール・本館・西館での開催を予定しています。本校のオフィシャルパートナーであるセレッソ大阪の企画テント、各種模擬店、体育館やホールでの劇やダンス、バンド演奏など盛りだくさんの企画を予定しています。

体育祭

日時：9月17日(火)
〔注意：会場(京セラドーム)の都合により9月24日(火)に変更となる場合があります。〕

本年度の体育祭は昨年度に引き続き京セラドームで開催します。クラス対抗戦だけでなく、全校を6団に分けた団別対抗戦も実施します。

大阪学芸高等学校 募集対策部報告

1、平成25年度入試結果

25年度の入試では基準の見直しと、専願・併願受験者に対して全員面接を行いました。コース別の成績基準に関しては教室確保の観点から検討し底上げいたしました。教室と教員の質量ともに十分な確保ができないなら教育活動の質が低下し、在校生や保護者の皆様、ひいては同窓会のご期待を裏切ることになります。過去のデータなどをもとに慎重に基準を見直した結果、５４０名募集に対して５５０名の入学者を迎えるに至りました。また全員面接は私立学校の特徴である規律ある校風・校則を、入学以前、入試の段階から理解してもらおうとの意図から実施いたしました。中学校・学習塾の先生方からもおおむね好評をいただき、本年度も継続する予定です。

生徒募集状況は概ね良好だったといえます。私学に吹いた追い風（大阪府内在住者には23年度の新入生から私学の授業料無償化基準が拡大等）が引き続き私学の専願率を上げ、募集活動を好結果に導きました。しかし行政による公私立を含めた入試制度改革により、生徒獲得競争が益々熾烈化することは間違いありません。一時的な外的要因に左右されることのない、盤石な生徒獲得の基盤は「教育の中身」如何に関わっています。その意味において、私ども教職員一同が絶えず研鑽に努め、「専願で選ばれる学校作り」を目指して頑張っていくことにしか生徒募集の活路は見いだせないといえます。

また近年の傾向として卒業生もしくは在校生（いずれも中等教育学校を含む）のご子息や姉妹兄弟が本校受験を志願するケースが多く見受けられます。ひとえに卒業生の皆様のご尽力のたまものと推察いたします。ここに、卒業生の皆様のご子息、お孫様が受験の折には、是非母校をお薦め頂くようお願い申し上げる次第です。

2、平成26年度　生徒募集人員

特技コース（男女　専願のみ）	80名
選抜特進コース（男女）	60名
特進理数コース（男女）	120名
特進コース国英・国際（男女）	160名
進学コース国英・国際（男女）	120名

※特技コース　スポーツや文化・芸能、その他の分野（地域・国際ボランティア社会貢献など）で各自の特技を活かしながら、自らの進路を切り開いていくことを目的とするコース。

【募集対象】

①地域活動で活躍する生徒・活動実績はあるが、本校にクラブがない生徒

②本校の重点クラブとして、特技コースの生徒を募集するクラブ活動

〈硬式野球、アメリカンフットボール、空手道、柔道、吹奏楽、バレーボール女子、コーラス、陸上競技（女子中長距離）、女子サッカー〉

③その他の特技に長けた生徒

〈地域・国際ボランティア、社会貢献など〉

※特進コース・進学コースの国際は、一年間の海外留学を前提とするコース

3、特待制度

本校卒業生の子女・弟妹の方が本校に入学された場合、入学金の半額を免除する制度があります。

大阪学芸中等教育学校 募集対策部報告

中等教育学校の今春(平成25年)の大学入試結果をご報告いたします。卒業生115名中34名が現役で国公立大学に合格し、今春の卒業生も非常に高い国公立大現役合格率になりました。特に、京都大学1名、大阪大学2名、神戸大学5名、大阪市立大学7名、大阪府立大学3名と、地元の国公立大で大きな実績を出してくれました。これも、本校の特徴であるきめ細かな指導が実を結んだと思います。

今年度より、Eコース、S選抜コース、Sコースの新コースがスタートします。

今後も、大阪で唯一の中等教育学校として、完全6年一貫校でしかできない取り組みを進めていきますので、今後とも、ご支援、ご協力の程、よろしくお願い致します。

平成25年 大阪学芸中等教育学校 大学入試結果(抜粋)

卒業生徒数　115名

平成25年3月31日現在

主な国立大学

大　学	総数	現役
京都大	2	1
大阪大	2	2
神戸大	5	5
北海道大	1	
大阪市立大	8	7
大阪府立大	4	3
京都工芸繊維大	1	
奈良教育大	1	1
和歌山大	6	4
兵庫県立大	2	2
山口大	2	2
徳島大	1	1
香川大	1	1
北見工業大	1	1
鳥取環境大	1	1
広島市立大	1	1
高知工科大	2	2
合計	41	34

主な私立大学

大　学	総数	現役
慶応大	1	1
同志社大	10	9
関西学院大	9	7
立命館大	12	10
関西大	13	12
京都産業大	6	6
近畿大	35	34
甲南大	6	5
龍谷大	5	5
関西外大	2	2
同志社女子大	1	1
武庫川女子大	2	2
神戸女学院大	1	1
大阪医科大	4	4
大阪薬大	1	1
畿央大	3	3
その他の私立大学	64	52
合計	175	155

創立百十周年記念事業について

百十周年記念事業委員会事務局長　中谷　清司

学校法人大阪学芸は、平成25年6月に百十周年を迎えます。百十周年は、百五十周年、二百周年に向けての通過点ではありますが、やはり一つの節目として学園関係者が歴史をつなぐランナーとして力を合わせて、それぞれの役割、特徴を生かしながら「大阪学芸」ならでの斬新な事業、企画を実施することを検討することになりました。そこで、仲西晃同窓会会長を委員長とする百十周年記念事業委員会を2年前に立ち上げ、記念行事の開催、学園歌の制作、ホール・食堂のリニューアル事業や記念募金のお願いに取り組んできました。百十周年記念事業委員会では、これらの企画、行事や事業を通して学園への愛着と帰属意識が一層深まり、組織の活性化が図られるならば、本学園の更なる飛躍に繋げる契機になるのではないかと考えているところです。

さて、記念行事ですが、平成25年7月19日（金）、大阪市中央体育館において、下記のプログラムからなる創立百十周年記念「学芸フェスティバル」を開催します。

生徒・教職員から募集し学園歌選定委員会で決定した中等教育学校平下心先生の作品である歌詞をシンガーソングライター西司氏に作曲していただき完成した学園歌「やくそく」を中等教育学校と高等学校のコーラス部が、高等学校吹奏楽部の伴奏によって披露することになっています。また、「セレッソ大阪」のオフィシャルパートナーである本学園は、合同で地域貢献活動やボランティア活動を実施したり、「セレッソ大阪」ホームゲームでの大阪学芸サポーティングマッチを毎年開催していますが、「学芸フェスティバル」でも、「セレッソ大阪」のイベントを予定しています。その他、2011年、「100万回のI love you」がヨコハマタイヤCMソングに抜擢され、配信150万回ダウンロードを突破し、2012年、被災経験を元に制作したシングル「素晴らしき世界」がアニメ「宇宙兄弟」のエンディングテーマに起用され話題になったシンガーソングライター「RAKE」によるイベントもあります。

このような大阪学芸の生徒、教職員、保護者、卒業生及び学園関係者が一同に会し交流を深める「学芸フェスティバル」に是非、ご参加ください。参加を希望される方は、同封しています創立百十周年記念「学芸フェスティバル」参加申込書に参加者氏名等必要事項を記入していただきFAXでお申し込みください。また、大阪学芸ホームページからも申し込めることになっています。お申込みいただいた方へは、後日、参加証を郵送させていただきます。尚、参加証がないと入場できません。

その他、百十周年記念事業としてホール・食堂のリニューアルを実施し、下図のように一新します。食堂は、「食育」の観点に留意した「美味しく」「安全・安心で」「飽きのこない」料理を提供することができるよう、書類選考、「食堂業者プレゼンテーション&試食会」を経て7社から選考した新しい業者に、学校から売上の20%を補助することになっています。

ホール・食堂のリニューアルについては、「生徒、教職員、保護者が使いやすく、また、外部の来訪者にとって心地よく快適に使用できる空間を創る」ことを計画条件とした設計事務所3社による「ホール・食堂設計コンペ」を開催し、1社を選考し、食堂は平成25年度の2学期には間に合うよう準備を進めています。学校にお越しいただいた際には、是非、本館地下1階のホール・食堂にお越しください。

さて、寄付金事業ですが、皆さまのご協力によって、本日までたくさんの温かいご寄付をいただいております。厚く御礼申し上げます。この寄付金事業は、ホール・食堂のリニューアルという学園の教育環境充実のためのもので、平成26年3月まで続けさせていただきます。記念事業推進のために、格別のご支援・ご協力を賜りますよう最後にお願い申しあげまして、百十周年事業の報告とさせていただきます。

創立110周年記念「学芸フェスティバル」プログラム

日　時：平成25年7月19日（金）
12:50開場　13:30開会（入場無料）
※参加証がないと入場できません。

場　所：大阪市中央体育館
（大阪市営地下鉄　中央線
朝潮橋駅下車　2A出口　徒歩3分）

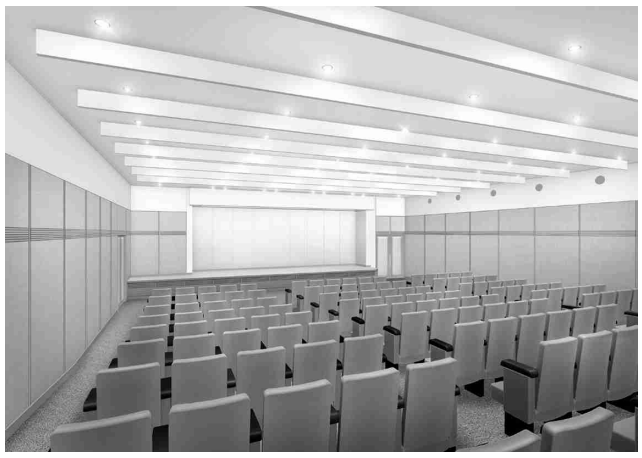
テーマ：110th Anniversary 学びの向こうに、未来が見える

13:30	開会
13:30	理事長挨拶
13:40	オープニング、吹奏楽によるマーチング
14:05	校歌斉唱、吹奏楽部による演奏と両校コーラス部の合唱
14:20	学園歌披露、作詞者・ジャケットデザイナー表彰
14:35	休憩
14:50	セレッソ大阪によるイベント
15:20	ゲスト RAKEによるイベント
16:00	実行委員長挨拶
16:05	閉会

＊プログラム時間については予定となっています。



食堂完成イメージ



ホール完成イメージ

活動報告

●平成24年5月21日（土）午後2時～
於…本校南館3階選択教室
第1回役員・委員長会議　出席者18名
「報告事項」
（1）常任幹事会の準備状況
「審議事項」
（1）定期総会の資料作成準備
（2）17号会報発行について

●平成24年6月9日（土）午後4時～
於…道頓堀ホテル　出席者72名
定期総会・懇親会
「報告事項」
（1）平成23年度行事報告等
「審議事項」
（1）平成24年度行事計画案
（2）会則改正
（3）役員改選等

●平成24年7月14日（土）午後2時～
於…本校南館3階　選択教室
第2回役員・委員長会議　出席者21名
「審議事項」
（1）臨時総会の開催
「議　案」
（1）平成23年度決算報告
（2）平成23年度監査報告
（3）平成24年度事業計画案
（4）平成24年度予算案
（行事報告に詳細を記載しています。）

●平成24年8月4日（土）～5日（日）
高野山普賢院一泊と慰霊碑参拝・野迫川温泉旅行
（行事報告に詳細を記載しています。）

●平成24年8月25日（土）
始業式に仲西会長より各クラブ代表者に功労賞メダルを贈呈。

●平成24年9月29日（土）午後2時～
於…本校南館3階　選択教室
第3回役員・委員長会議　出席者14名
「報告事項」
（1）高野山普賢院一泊・慰霊碑参拝を終えて
（2）17号会報発送を終えて
（3）一部役員の変更の件
「審議事項」
（1）決算報告の確認
（2）臨時総会準備・役割分担

●平成24年10月27日（土）午後2時～
於…本校南館2階　選択教室
第4回役員・委員長会議　出席者16名
臨時総会準備・役割分担

●平成24年11月17日(土)午後4時30分～
於…ニューミュンヘン南大使館
臨時総会・秋季懇親会　出席者72名

●平成24年12月17日（月）午前10時～
校祖祭
参列者　和田名誉会長
仲西会長
米田副会長

●平成25年1月19日（土）午後5時～
於…ニューミュンヘン南大使館
新年会　出席者22名

●平成25年2月9日（土）午後2時～
於…同窓会事務所
第5回役員・委員長会議　出席者10名

●平成25年2月21日（木）
クラス幹事委嘱状と卒業記念品授与

●平成25年2月22日（金）
於…本校体育館
平成25年度 大阪学芸高等学校 卒業式
出席者　和田名誉会長
仲西会長（会長が祝辞を述べる。）
米田副会長

●平成25年3月9日（土）午後2時～
於…本校南館3階選択教室
第6回役員・委員長会議　出席者13名
［会報作成準備］
（1）記事担当責任者の確認
（2）原稿依頼について
（3）広告掲載について

●平成25年4月4日(木)午前9時30分～
於…NHKホール
平成25年度 大阪学芸高等学校 入学式
出席者　和田名誉会長
仲西会長

●平成25年4月20日（土）午後2時～
於…本校南館3階選択教室
第1回役員・委員長会議　出席者12名
「報告事項」
（1）会報準備と進捗状況
「審議事項」
（1）平成24年度決算報告案
（2）平成25年度事業計画案と予算案



行事報告

平成25年 定期総会・懇親会

副会長　上野　寅次郎

総会

平成25年6月15日（土）午後4時より道頓堀ホテル2階ホールに於いて、60名参加の下定期総会を開催しました。

司会の西野仁彦副会長の開会宣言で始まり、仲西晃会長の挨拶に続き、武田一仁校長より学事報告がありました。平成24年度の卒業生は479名、又平成25年度の新入生は550名で、入学式は昨年と同様NHKホールにて実施されました。

その他進学状況、クラブ活動で活躍している状況等の説明ならびにご挨拶を受けました。

議案審議に先立ち、議長には桜井良一副会長が選出されました。

議案

一、平成24年度　行事報告　西野仁彦 副会長
二、平成24年度　決算報告　川原　実 会計
三、平成24年度　監査報告　大橋秀志 会計監事
四、平成25年度行事計画（案）　田中敏文 副会長
五、平成25年度予算（案）　川原　実 会計

審議の結果、全ての議案は可決承認された。
以上で総会は終了しました。

懇親会

総会に続き午後6時より同場所に於いて懇親会が開催されました。

米田耕作副会長に宴会の司会をお願いし仲西晃会長並びに学園側より岡本利雄理事長、中谷栄蔵PTA会長より挨拶をいただき、山本英雄顧問の乾杯の音頭で宴が始まりました。

先生方も同窓生と和気藹々となり、学生時代の思い出話に花が咲き、全員で校歌合唱に続いて藤井昭三顧問の力強い中〆の挨拶でお開きの時間となり、懇親会も終宴しました。

学園創立百十周年記念にあたり 学園に金200万円寄贈

平成25年6月15日（土）総会終了後、仲西会長より岡本理事長に寄贈されました。





平成25年　総会出席者

高野山普賢院一泊とホテル野迫川温泉旅行

副会長　西野仁彦

今年も例年通り、平成24年8月4日(土)～5日（日）と高野山普賢院一泊及び慰霊碑参拝と、ホテル野迫川温泉への旅が執り行われました。

毎年の事ながら、暑い暑い大阪から高野山に着きますと、その涼しさに生き返る思いが致します。

本年は、普賢院宿泊者は15名で、早朝よりの慰霊碑参拝者を含めて21名の参加となりました。

夕食時の仲西会長挨拶では、来年は学園創立百十周年を迎え、学園では記念大会を行うとの報告があり、引き続き学園を代表して赤井理事からも皆様の協力のお陰で学園も順調に発展しているとの挨拶、そして和田名誉会長の乾杯で和やかに宴会が始まりました。又、部屋に帰ってからの二次会でも夜遅くまでいろいろな話が聞け、楽しい宴となりました。

翌日は早朝より全員勤行に参加、読経の中阿弥陀如来に手を合せ、皆の健康長寿を祈りました。朝食後、例年通り数珠屋四郎兵衛土産物店のバスにて奥の院へお参りし、慰霊碑前にて早朝より参拝の理事長、校長先生他の方々と合流しました。普賢院僧侶の読経の中、焼香礼拝し同窓会先輩方の志しに感謝するとともに、学園発展を祈願致しました。

迎えのバスにて野迫川温泉ホテル野迫川へ。温泉につかり、都会ではなかなか味わえないあまごづくしの昼食に舌鼓を打ち、のんびりとした時間に、命の洗濯が出来たような気が致しました。

次回は平成25年8月3日（土）～4日（日）を予定しておりますので、皆様もふるってご参加の程、よろしくお願いいたします。



高野山普賢院 出席者

平成24年度 臨時総会及び秋季懇親会開催

副会長　甘佐勝

平成24年11月17日（土）午後4時30分よりニューミュンヘン南大使館に於いて52名参加のもと、臨時総会が開催されました。

西野副会長の開会宣言、仲西会長の挨拶に続き、平成24年度定期総会審議事項で否決された3件の今日に至るまでの経過報告がありました。

議長に桜井副会長、副議長に田中副会長、書記には甘佐が選出されました。

議案

一、平成23年度決算報告
　会　計　井原　靖二
二、平成23年度監査報告
　会計監査　河口　通泰
三、平成24年度予算（案）
　会　計　川原　実
四、役員会が認める特別会員の件
　会　長　仲西　晃

各議案全て全会一致で承認されました。

その後、西野副会長より閉会の挨拶で、臨時総会を終了致しました。

臨時総会に続き、午後5時30分より同場所に於いて、懇親会が開催されました（出席者72名）。

ご来賓として学園から岡本利雄理事長、武田一仁校長、理事の先生、教職員ＯＢの先生方、ＰＴＡ井上英夫様のご出席をいただきました。

米田副会長の開会宣言に始まり、物故者への黙祷、仲西会長の挨拶に続き、学園を代表して岡本理事長のご挨拶、武田校長からは学事報告がありました。同窓生達も学園の近況報告に関心を寄せていました。その後、井上ＰＴＡ会長のご挨拶の後、記念撮影をすませ、御年87歳、和田貞夫名誉会長の乾杯の音頭で宴会へと移りました。

ビンゴゲームの景品で楽しんだり、ご来賓の先生方も同窓生と一体となって楽しんでおられました。お酒の酔いが回るにつれ、学生時代に戻り、思い出話に花が咲き、時の立つのも忘れて和やかなひとときを過ごすことが出来ました。

最後は山本顧問の閉会の挨拶で無事懇親会も終了致しました。



秋季懇親会 出席者

ご来賓恩師の賀寿を祝う会の開催

成器会39会（サンキュー）会長　熊谷照雄

平成24年7月28日（土）の午後6時から、第3回藤馬会と第14回成器39会同窓会の共催で「賀寿を祝う会」を、難波道頓堀ホテルにて46名が集まる中開催しました。

賀寿者は過去に複数回出席された方々で、米寿の和田貞夫成器会名誉会長、傘寿の山本英雄元校長先生、喜寿の久米藤馬先生、そして同じく喜寿の川岸春夫先生でしたが生憎、傘寿の山本英雄元校長先生は熱が下がらず欠席されました。成器会から甘佐勝、田中敏文両副会長、そして鈴木事務局長の三氏がご来賓として出席されました。

「総会」は定刻に米田君（C組）の進行で始まり、会を代表して小生（B組）が挨拶、会計報告を河守君（普通科）が、そして監査報告を北橋君（D組）が各々に坦々粛々と終えました。

「記念撮影」が済み、いよいよ本日のメインイベントである祝賀会に移り、名司会の久間田君（B組）が「賀寿を祝う会」をリードします。「開会の挨拶」は副会長の塚本君（E組）が、「賀寿の祝辞」を小生が務めました。「賀寿者へのプレゼント」は神藤君（C組）、川原氏（藤馬会）、そして柏原君（A組）達がプレゼンターをこなしてくれました。続く「桃饅頭の入刀と乾盃の音頭」は鎌苅君（C組）の案内誘導で和田翁が桃形の巨大饅頭の直中に狙いを定め入刀しました。翁のそのユーモラスなパフォーマンスに会場内は笑いと喝采の渦が巻き起こりました。中から沢山の小さな桃饅頭が出てくるサプライズがあり、後程私たちのデザートになるのです。

ここで両会の事について少し述べさせていただきたいと思います。先輩風を吹かせて成器39会の方からお話しさせていただくと、会の命名は初代会長の故川久保明君（H18・6）が母校に感謝の心を忘れないとの意から、成器サンキュー会（公称）と名付けました。第1回記念大会は平成5年7月3日（土）に難波戎橋のミュンヘンシティで76名が集まり開催しました。平成17年7月9日（土）の第7回までは隔年で行ってきましたが、還暦を境に毎年やろうと言う事になりました。第15回記念の今年（平成25年）は7月27日（土）午後6時から道頓堀ホテルで開催します。奇しくも当年は成器いや大阪学芸の創立百十周年と卒業50周年、そして開会20周年に該当し、大いに盛り上げていきたいと思っています。この会は卒業生311名で住所判明者は169名、そして物故者29名、住所不明者113名の内訳になります。そして一度でも参加した者は丁度百名で私たちの目標は残る69名の数を減らし、一人でも多く参加していただく事です。過去の恩師来賓でお越し下さった方には、前記7名の他に、久保井正三、永浜俊昭、三浦友久、太田隆之、渡壁辰夫、山田大吉郎各先生方と、山田政次郎、井内博見両元会長、大矢隆史元副会長がおられます。

次に藤馬会ですが、久米先生のお名前を拝借しており、久米学級である3年C組が母体になっています。不足の分は先生と懇意にしておられる方々が主旨に賛同し参加しておられます。

クラス会と同期会の違いはありますが、学校を愛する気持ち、恩師を敬う気持ちは同じで今も昔も不変です。それは成器会（大阪学芸同窓会）も変わりませんが、大きく異なる点としては半永久的な成器会に対し、39会、藤馬会とも、参加者は皆年老いて、余命幾許もない告知を受けた患者のような会だということです。

さて、話は戻りまして賀寿者の挨拶では、御三翁の齢に似合わぬ元気溌剌としたお声を拝聴させていただきました。宴も闌、恒例の「ビンゴゲーム」があり、豪華な賞品に我先にと飛び付いていました。続いて「カラオケ大会」があり、特に北橋君の十八番である「河内男節」は期待通りの節回しで、場内は手拍子や笑いで大いに盛り上がりました。最後の校歌合唱は堀江君（B組）を中心にこれでもかと言わんばかりの大声で合唱し、塚本君が応援団のパフォーマンスを示してくれました。「閉会の挨拶」は幹事の英君（A組）が見事に締めくくってくれました。

最後に未だ一度も参加されていない69名の方へ、会が在る内に、健康である内に、仲間が生きている内に、人生を語り合いましょう。ぜひお越し下さい。お待ちしております。



ご来賓恩師の賀寿を祝う会 出席者

現職先生の今 お世話になった先生方に会いに行こう！

宮川　公一　先生

教科:英語／役職:1学年主任

元気にやっています。今年は久しぶりに学年主任を任され、頑張っています。

卒業生の皆さん、いつでも顔を出しに来てくださいね。

出口　未郁　先生

教科:英語／分掌:国際教育委員会

長らく大学院で英語教育学を学んでいましたが、今秋卒業します。教育経験を経て学んだ理論や、種々の教育実践は、私の英語教育人生にさらなる豊かさを与えてくれました。英語を使い、国境を越えて、世界中の人とつながることができる「コスモポリタン」を育てることをライフワークとして、日々生徒たちとの関わりを楽しんでいます。

榎本　薫　先生

教科:国語／分掌:進路指導部／役職:教科副主任／3年7組(特進G)担任

早いもので、今年で担任生活も7年目を迎えました。卒業していったみなさんのこともよく思い出します。またいつでも元気な顔を見せにきてくださいね。楽しみにしています。

稲毛　充　先生

教科:保健体育／3年15組(進学)担任

現在、3年の担任です。アメリカンフットボール部は、全国大会出場を目指して、活動中です。

中村　啓子　先生

教科:数学／分掌:総務部

H21年～23年度は、1学年から3学年まで持ち上がりで担任をしました。H24年度より校務分掌に総務部が出来て、そちらを任され現在に至ります。総務部では主に、学校だよりやHP、110周年記念行事などを担当しています。今後もHP等で学校や生徒の様子を見て頂けると嬉しいです。

上田　康代(旧姓:橋本)　先生

教科:社会(日本史)／分掌:教務部／役職:教科主任／3年12組(特進)担任

この3月に、無事クラス全員が卒業し、ほっと一息をついたのもつかの間、今年度も3年生の担任をしています。そして部活動のほうでも、吹奏楽部顧問からコーラス部顧問のほうに移動になりました。なお、2011年3月に結婚しまして、姓が上田になっています。

今回は一部の先生方の様子を掲載させていただきました。長く勤務されている先生方の多くが今も本校でご活躍されております。 卒業生の皆様と会いたいという先生方ばかりです。いつでも　気軽に学校に遊びに来てください。最後に、現在在職されている先生方を下に掲載いたしました。敬称は省略させていただいております。(※昨年から在職されている先生方を対象としています。教えていただいた先生方がまだいらっしゃるか、ぜひ探してみてください。なお、名前の後ろにある(　)内は、役職もしくは数字の場合は担任している学年を意味しています。)

● **高等学校で勤務されている先生方(敬称略)**

国語　和田國昭（＊今年より特別講師として勤務されております。）
山田　泰男(教頭)／龍　富士明(3)／音田　祥子(3)／森本　健(2学年主任)／山本　健司(募集対策部長)
榎本　薫(3)／米澤　絢子／高垣　佳央里(1)／辻岡　友絵(3)／観野　咲(2)／山本　匡人(2)／奥田　英治
岸原　知也／咲花　宏子／亀山　高之

英語　天本　秀晃(3)／宮川　公一(1学年主任)／吉村　順(2)／野口　雅春(3)／延藤　郁子(2)
豊川　友啓(3学年主任)／大橋　孝之(1)／中村　比呂志(教務部長)／川口　絹子／津田　鉄也／八田　友子(2)
吉川　真子(1)／飯田　智哉(1)／出口　未郁／Thomas　Clark／福島　丈司／柴田　謙佑／高島　瑞恵(2)
徳永　壮一郎／奈良　充康(2)／廣海　冴耶(1)／神谷　佳男／Kevin　Ryujin

数学　森松　浩毅(教頭)／中村　啓子(総務部長)／堀井　哲史(進路指導部長)／井上　孝典(3)／井尻　真美子(1)
辻井　嶺介(2)／江川　好昭(1)／弘中　正之(3)／高城　直也／橋本　勝／渋谷　浩／深見　保幸

理科　前田　泰男(1)／大津　裕一(2)／北野　由実子(3)／山内　景子(1)／龍岡　聖満(3)／橋本　雅司(2)
窪田　真頼／玉暉　宗夫／城内　敏美／石井　美穂

社会　藤本　博嗣(生活指導部長)／榎並　徳次(3)／細見　誠(生活指導副部長)／伊藤　貴力(2)
山本　健太(2)／上田　康代(3)／今井　健太(1)／明地　克博(2)／川上　拓也(2)／小笹　拓
村井　裕弥／竹内　希／谷村　大地／山本　勝久

保健体育　笠松　武志（＊今年より特別講師として勤務されております。）
稲毛　充(3)／江戸　浩三(1)／川村　誠一(3)／三井　紗弥香(2)／真鍋　早智(2)／石井　孝宏

家庭　山田　加世子(1)／西村　翠

芸術　小本　和志／嶋田　麗子

情報　高田　雄

養護教諭　橋本　明子

● **中等教育学校で勤務されている先生方(敬称略)**

国語　山崎　和浩(生徒指導部長)／栗本　幸宜　**英語**　石本　象二(中3学年主任)／木村　廣通
数学　良本　完爾　**理科**　合羽　勝彦／宮尻　忠　**社会**　大植　佳彦(校長)／岡川　啓司
兼松　秀幸　**保健体育**　木本　景子／鈴木　清／平下　心／小谷　誠　**養護教諭**　松本　絵美

卒業生の近況報告

●**山本和雄（昭和十二年卒）**
卒寿を越し生存者次々と減少寂しくなりました。

●**吉野安孝（昭和十九年卒）**
私の孫が二年生在籍中です。体力が落ちてきてあまり外出しておりません。

●**大仲良三（昭和十九年卒）**
体調不良でぶらぶらしています。

●**松下長央（昭和十九年卒）**
元気で過ごしています。

●**熊沢　理（昭和二十年卒）**
病気療養中です。

●**井上隆二郎（昭和二十年卒）**
体調不良です。

●**藤井昭三（昭和二十年卒）**
平成二十四年・十月に8020推進財団より自分の歯が二十本以上あることで表彰されました。「健康は歯から」で何でもおいしく食べています。

●**川田峰夫（昭和二十年卒）**
税理士の仕事、今もしています。

●**鴨志田長只（昭和二十一年卒）**
家内の長期入院の看病に明け暮れています。

●**中島日出男（昭和二十一年卒）**
間もなく八十四歳になりますが今も仕事をしています。

●**高田良造（昭和二十三年卒）**
高齢になり弱ってまいりましたが、何とか日々過ごしています。現在、老人会の役員をしています。

●**岡崎義麿**
透析に病院に行ってます。

●**森居保行（昭和二十四年卒）**
健康状態は元気です。

●**本田重彦（昭和二十五年卒）**
近年、腰痛症のため長い時間着座出来ません。

●**北本喜一（昭和二十五年卒）**
十数年前より関西大学の代議員をしております。

●**池内　稔（昭和二十六年卒）**
若い若いと思っておりましたが八十歳を越して病気ばかりしています。

●**丸山光次（昭和二十八年卒）**
通院しています。

●**森田弘光（昭和二十六年卒）**
足腰が悪くなってきました。

●**宮本善之助（昭和三十年卒）**
地域の老人会のお世話や趣味の会のお世話で毎日結構忙しくしております。

●**福永　勝（昭和三十三年卒）**
元気で頑張っています。

●**森口浩志（昭和三十四年卒）**
毎日午前六時三〇分よりNHKのラジオ体操を近くの公園でしています。

●**松村光三（昭和三十四年卒）**
元気にしています。シルバー人材センターの紹介で年十回程度、働いています。

●**高橋忠幸（昭和三十六年卒）**
妻と二人で暮らしています。

●**大橋淳二（昭和三十六年卒）**
毎日楽しく暮らしています。

●**山田修三（昭和三十六年卒）**
昨年、五十年ぶりの同窓会、感激しました。

●**菊地耕作（昭和三十六年卒）**
同窓会常任幹事副代表で頑張っています。

●**寺田貞雄（昭和三十六年卒）**
先日、浜寺中学校の古希を祝う会に参加しました。

●**増田義明（昭和三十六年卒）**
血圧、中性脂肪が高くなってきました。

●**平野忠昭（昭和三十七年卒）**
体調不良で自宅療養中です。

●**北橋利造（昭和三十九年卒）**
毎日が忙しいです。

●**本山人司（昭和三十九年卒）**
元気に頑張っています。

●**滝澤勝利（昭和三十九年卒）**
総会当日、ユーザーのコンペ会があり欠席します。

●**鎌苅富雄（昭和三十九年卒）**
総会当日は地元自治会の行事があり欠席です。

●**塚本勝紀（昭和三十九年卒）**
総会当日は私事にて欠席します。

●**若林一男（昭和三十九年卒）**
幹事の皆様いつもご案内ありがとう御座います。

●**澤崎市郎（昭和四十年卒）**
今のところ元気です。

●**杉田　均（昭和四十年卒）**
家族が病気の為、総会を欠席します。

●**松田和人（昭和四十一年卒）**
勤務地が大阪と緑豊かな福知山が増え忙しい日々を送っています。

●**倉山富夫（昭和四十六年卒）**
仕事が忙しいです。

●**宮崎信雄（昭和四十六年卒）**
今年還暦です。

●**石井　茂（昭和四十六年卒）**
もうすぐ六十歳になりますが元気に頑張っています。

●**林　謙治（昭和四十七年卒）**
元気にやってます。

●**竹村　司（昭和五十四年卒）**
会社の仕事があり、総会を欠席します。

●**田中孝幸（昭和五十四年卒）**
元気で頑張っています。

●**名越敏秋（昭和五十六年卒）**
飲食業をしています。休みが取れません。

●**長嶋宏之（昭和五十七年卒）**
出張です。皆様によろしく。

●**橋川昌弘（昭和五十八年卒）**
この日は慰安旅行があり欠席します。

●**宮越隆志（平成五年卒）**
毎日元気に過ごしています。

●**坂口雅宣（平成六年卒）**
富山県で勤務しています。

●**露口亮太**
大阪産業大学でバスケットボール部の監督をしています。

●**垣崎尚文（平成十年卒）**
今回は友人の結婚式の関係で欠席します。

●**西野伸一（平成十三年卒）**
東京で住んでいます。

●**山口由香（旧姓大橋）（平成十四年卒）**
引っ越しの為、欠席です。

●**長谷川洋平（平成十五年卒）**
仕事で都合がつきません。

●**大河原佑太**
四月から岐阜で就職しました。

●**小郷朱理（平成二十一年卒）**
大学の部活で毎日頑張っています。

●**奥谷香奈（平成二十三年卒）**
今は大学で専門の勉強と英語に力を入れています。充実した毎日です。

●**和田貞夫同窓会名誉会長（昭和十九年卒）**
4月20日(土)チョット熱があるので、薬を貰う為、医者に行きました。(月曜日よりベトナムへ行く予定ある為)医者曰く「あなたベトナムへ行ったら死にまっせ！　肺炎やがな！　すぐに入院しなさい」と言われ、ベトナム行きを諦め入院しました。お陰様で3日ほどで熱も下がり、5月1日に退院しました。皆様にご心配をかけましたが、回復し毎日仕事に励んでおります。同窓会発展の為、仲西会長を中心に役員皆さんのなお一層のご尽力をお願い致します。

教職員OB・OG近況報告

●**中路　悟先生**
最近、体調不良です。

●**久保井正三先生**
七十九歳になりました。毎朝1時間程度のウォーキングを楽しんでいます。3つの大病を克服しました。

●**藤本恭作先生**
成器会の益々の発展をこころから祈っております。

●**楠橋伊佐夫先生**
母親の介護で奮闘中。

●**依田吉野先生**
私も八十四歳足腰が弱く階段の昇降がままならぬ状態です。
相変わらずデブ婆さんです。

●**久米藤馬先生**
事務局ご苦労さんです。成器会の発展を祈っています。

●**渋谷和彦先生**
すっかり足が弱くなり歩行器たよりに歩いています。

●**谷口　隆先生**
身体の調子が悪く懇親会欠席いたします。

●**津田達男先生**
懇親会当日は所用が重なりました。今は何とか元気です。

●**池田喜久美先生**
日々、健康に留意し畑、マラソン等行っています。

●**鈴木克爾先生**
だんだん厳しくなったが走ることを続けています。学園の発展を楽しみにしています。吹奏楽部の定期演奏会よかったです。

●**髙橋峰和先生**
現在、府立高校で働いています。もう少し働きたいと思うきょうこの頃です。

●**北原祥弘先生**
いまだに吹奏楽界から離れられません。大阪府・関西吹奏楽連盟の役員を続け、OB吹奏楽団や地域の吹奏楽団に指導を依頼され指揮活動に専念しています。

●**猪瀬正雄先生**
文化講演、ボランティア、絵画、スポーツと多忙な日を過ごしています。

●**佐原や江先生**
日々、介護に追われています。

●**内藤隆富先生**
現在、府立藤井寺支援学校で首席と地域の幼稚園や小・中学校へ教育相談に出かけるリーディングスタッフという業務を行っています。

●**西村貴博先生**
現在、和歌山県立海南高校で勤務しています。二年生の担任です。

●**竹谷和夫先生**
気がかりなことは、東日本大震災の被災地では駆け足で二度目の厳しい冬を迎えます。仮設住宅のふろの追い炊き機能を追加する作業が間に合うか。心が痛みます。

●**公原博之先生**
ようやく公認会計士になりました。

●**北野静代さん**
昨年退職いたしました。在職中は大変お世話になりました。

●**山本勝久先生**
昨年、大阪桐蔭高校に勤務していましたが本年から学芸に戻っています。

●**鈴木　清先生**
学芸中等教育学校で勤務しています。また、同窓会事務局のお手伝いをさせていただいてます。クラス会、学年会を企画される場合、是非ご一報ください。

卒業生からの手紙

芸名　林家うさぎ
（本名　大条和雄　昭和61年卒業）

学園創立百十周年おめでとうございます。
昭和61年（1986年）に当時は成器高等学校を卒業いたしまして、早27年。
四代目林家染丸（当時林家染二）に弟子入りをいたしましたのが、三年生の2学期が終わった12月21日、この日から3年間の内弟子修行が始まりました。ですから、3学期と卒業式は師匠の家から登校しました。芸歴は28年目になります。
学生の頃から、演芸が好きで花月劇場や、道頓堀角座や地域寄席などよく一人で見に行っていました。その中でも落語家が着物を着て、赤い台の上で座布団に座って噺をしている姿が自分にはカッコよく見えて、自分も落語を憶えてやってみるとできる。学校では、文化祭は勿論のこと、雨の日の体育の授業時間などは、たいがい私の落語を披露する時間でした。
その頃、視聴者参加の演芸番組がたくさんあり、多くの番組に出ました。出るとハワイ旅行を獲得したり、素人名人会という番組では名入賞を出る度に獲っていました。これはプロの落語家になってもいけると勘違いし噺家になりました。（笑）
落語は継承芸ですから、師匠に弟子入りしないと落語家にはなれません。
全く面識のない染丸師匠に直接弟子入りをお願いしたのが高校2年の時、高校だけは卒業しなさい、それまでは家に遊びに来たらいいから、と言っていただきました。
弟子を取れば、見ず知らずの少年を自分の家に住み込ませ、食べさせ、生活の面倒をみて芸を教える。弟子は師匠にお金を払うことは一切ない、師匠には何もメリットもない。
しかし染丸には私を含め13人の弟子がいる。
弟子は、師匠の出演する仕事にカバン持ちとして付いて行き、身の回りのお世話をしながら、関係者やテレビ局の人に顔や名前を覚えてもらう。
落語家になり半年後に初舞台を北御堂津村別院ホールで向かえました、同級生や同窓会の先輩方にも応援いただきました。今でもたまに懐かしい先生や同級生が楽屋に来てくれるととても嬉しいものです。
なぜ林家うさぎと言う芸名がついたのですか、とよく聞かれます。うさぎと言えば林家の家紋、なかなか由緒のある名前なのです。
所属事務所は、お馴染みの吉本興業。先輩にオール阪神さん、後輩にシンクタンクのタンクさんがいます。
そして、公益社団法人上方落語協会（桂文枝会長）会員でもあります。天満天神繁昌亭にも出演しております。
今年結婚して20年。妻は、シェリーと言うカナダ人、中学生の息子ショーンと三人暮らし、家族に支えられて楽しい国際結婚生活を送っています。
私にはもう落語以外できる事がないので、これからも生涯、落語家という職人で人を楽しましていきたいと思います。



現役時代の思い出



顧問
山本英雄
（元校長）

去る平成23年11月26日、天王寺月日亭にて元校長安永先生の御提案で名誉会長和田先生、同窓会会長仲西様他、同窓生の有志の方々が思いも寄らない「傘寿の会」を催して下さいました。その節には皆様から色々と暖かい言葉を戴き楽しいひと時を過し感謝にたえません。誠に有難うございました。

校長職を辞して20年余り、今は曲がりながらも静かな暮らしをさせて頂いておりますが、ここで現役時代の出来事のあれこれを思い出して、その一端を記して参りたいと思います。

それは昭和58年4月4日、私は選挙という私学では珍しい方法にて校長に推薦されました。なぜ選挙で？　選挙前の校長時代、別校建設という名目の（三林山林）土地取引で詐欺に遭い、数億の借金を学校が背負うはめに陥り、当時の校長は辞任させられ、混乱の中、学校運営は組合管理となり、校務分掌で管理職は全員選挙で選出と云う決まりになりました。

私はその2日後にせまった入学式には何も読まずに自分の言葉で挨拶しようと心に決め、どの様な内容を皆様に伝えるかを試行錯誤、その間の緊張感は最高に達していた事を今も覚えています。

所で肝心の学校の学力状況は、前述の新設校建設の思惑から多くの生徒を募集しなければならず入学水準を下げた結果、商業科ではSS偏差値80足し算もあやふやといった生徒もおり、卒業生も近大（昼）へは一～二名しか入学できなかったと云う有様で学校自体も非常に荒れていた状態でした。

幸いにも十数名の結束して応援してくれる先生がおり組合の対抗勢力となった結果、次第に28名まで増え職員会議の運営もスムーズになり、3年後の選挙時には選挙制度をなくす様にしました。この様に何とか学校を良くしようと云う気運が高まって来たのです。

私自身（8年半）の在職中、一日も欠かさず朝7時半には校門に立ち登校してくる生徒達への挨拶を続けました。やはり第一の課題は学力レベルを上げる事でした。中学校への入試説明会には校長が中心となり許す限り出席する、出来るだけ多くの学校を訪問し、まず強調するのは「大学受験の特別講習を厳しくしていることを例を使って説明する」「風紀も正しく学校内を見に来て欲しい」等々、今で言うトップセールスの実践です。その結果、学力も序々に向上して来ました。

又私中高連校長会の会合には毎回欠かさず参加し、経営者のちょっとした本音など参考になる事は密かにメモし、経営の勉強もし、これはと思う所を実行に移したことも往々にしてありました。

修学旅行も外国へ、当時としては目新しい企画でした。少し余裕が出来、校舎も新築、オーストラリアのキャッスル高校とも姉妹提携を結ぶことも出来、ジャッヘ校長とも親しくなり、家へもお邪魔しました。

広い視野での勉強が可能になりました。

最後に私個人の事ですが、クラブ活動の野球部の存在です。野球好きの私は奉職した日から37年間、監督か顧問を続け、野球部を何とか強いチームにしたいと思い情熱を持って指導して来ました。朝日新聞の全国版に「校長が監督の成器」と掲載されたこと懐かしく思います。

この創立百十年の歴史ある我校が、時代の波を乗り越え、現代の様に目覚しい発展をし続けるのも、支えあう力の結集に他ならないと、かげながら喜んでいる次第です。

雑感



顧問
野田和男
（元校長）

昭和38年4月に成器商業高校に奉職して今年で50年、職を辞して13年になる。

国語の教師として迎えた二学期、校長室に呼ばれた。入ると担任が一人辞められたので、二年の担任に命ずるとのことだった。

次の年度卒業生を送り出し、41年44年47年度と卒業生を出した時に、泉北問題が発覚した。勤めて10年目で学園存亡の危機に直面した。定年制が作られ年配の方は辞めざるを得ず、不安にかられた人は外に職を求めたりと重苦しい空気が漂っていた。その中で校内理事が選出され、組合も一体となって学園を守ろうということになった。

校務分掌に入試委員会が作られたが、初年度の入学生は大きく減となった。

二年目は卒業生が多く、空教室も多くなるのでこの教室を全部使用すればとの考えで、中学訪問に力を入れた。予想どおり募集人数を大幅に上回る入学者になった。

生徒を集め過ぎだとの意見もあったが、経済的に少し潤ったので、希望もわいて来たと思う。高校進学率が高くなり公立が増設される時期、本校独自の事情で苦しい時に、生徒の質を上げ募集定員を満たすにはどうすれば良いのかと議論することが多くなった。

入試・教務部に在籍して10余年、その間、学園は別館・近隣の土地を次々と購入した。

やっと担任に戻ったのは昭和60年であった。

63年から総合校舎が建築され、皆に希望が湧いてきた。昭和61年・平成元年度と続けて卒業生を送った。平成3年5月の修学旅行はオーストラリアと北海道の希望制であった。

山本校長・大半の2学年担任と一緒にオーストラリアに行った。その時は次の年、校長として姉妹校提携の調印式に望むとは夢にも思わなかった。平成5年創立90周年には元NHKの磯村尚徳氏に講演をお願いした。

校長会ではスマートな式典をされたと好評であった。老朽化で別館の雨漏りがひどいと聞いて現場に行き、ここに中学校を復活してはと言ったのが中学校・後の中等学校へと話が進んだと思う。定員増を得るために校地が必要だという事で、河南町にグラウンド用地を購入することになった。

校祖が百十年前に学校を創立され、三代鈴木校長が長居の現在地に土地を確保され、泉北問題の時は全員で学園を守った。泉北問題後同窓会が出来た。学園を守るのはやはり関係者の力が必要だと思う。

「徳器成就」
「国民（くにたみ）の徳の器をつくるべき
学びのやかた今立ちにけり」

の短歌に、校祖の気概を感じます。

卒業証書授与式



総会の席上、鴨志田長只（昭和21年卒）に武田一仁校長より卒業証書を授与されました。67年振りの卒業証書を手にして感慨無量のこととお慶び申し上げます。

成器の華は、二部にあり



顧問
藤井昭三
（昭和20年卒業）
元大阪府議会議員

私は昭和15年4月、当時大阪市浪速区馬渕町にありました、成器商業学校二部（夜間部）に一年生として入学しました。後の大阪学芸高等学校の前身です。

私は昭和2年6月、愛知県知多郡鬼崎村（現、中部国際空港のある常滑市）で生まれ、昭和15年3月村立鬼崎南部尋常高等小学校尋常科6年を卒業しました。上級学校に進学を希望していましたが、家が貧しくて上級学校に行くことができませんでした。それでも進学希望を抑えることができずにどうしても上級学校に進学したいと、小学校の担任の先生にたのみこみました。幸いにも、先生のご尽力の結果、大阪の弁護士さんが住み込み書生を募集しており、私が選ばれました。就職条件は、成器の納付金6円、給料2円、通学交通費、食費を受ける事でした。

受験の手続きは、弁護士さんの知人で成器の卒業生の方が全部すませてくれました。

私は小学校卒業後直ちに上阪し、すぐ入学試験を受け、競争率2倍の難関をこえ無事合格し、晴れて成器の帽子を被ることができました。それからは、生まれて初めての大阪で、昼は弁護士業務の書生として働き、夜は午後5時に自転車に乗って通学しました。

書生としての仕事は、大変苦労しましたが、夜学校に行くと、すぐに友達ができ、大阪弁の話、勉強の仕方、お互いの仕事の話と会話がはずみ、昼間の仕事のストレスも解消し、楽しい一時となりました。

学校は校門をくぐると校祖遠藤三吉先生の銅像があり、左側が受付、その奥が教室で、鍵の手の様に曲った木造校舎が続いていました。

右側に講堂があり、正面に運動場が展開していました。登校すると、左側の隅にある給品部に直行し空腹を満たすため、うどんを食べる事が、楽しみの一つでもありました。

幸いにも、成器の二部は、甲種商業学校といって、二部の授業でも、5年間の在学で、昼間生と同様の資格が授与されました。

その為、授業は午後6時から午後9時10分まで厳格に行われました。むずかしい授業もありましたが、毎日元気に楽しく充実した学生生活であったと思います。

戦争がはげしくなり軍事訓練も受けました。匍匐前進などをしたことが、今でも記憶によみがえってきます。

部活動は弁論部に入り、5年間に二・三度入賞したことを覚えています。

戦争がはげしくなるにつれ、停電も毎日の様にあり、ローソクで勉強したり、試験を受けたことも度々でした。

昭和20年3月20日は卒業式でしたが、その前の3月13日は大阪の大空襲で、大阪の大半が焼け、母校も全焼してしまいました。

勿論、卒業式もなく、卒業証書も後々受取りました。しかし、成器で学んだことは私の人生に良い影響をもたらしてくれたことを今でも感謝しています。

野菜作りは楽しい



顧問
本田重彦
（昭和25年卒業）

私は昭和53年に今の一戸建て住宅を購入した。

家庭菜園を始めたのが5年後の昭和58年ごろだった。

手始めに、ナス、キュウリ、トマトを植えたが初めてのことなのでうまくならなかった。翌年はインゲン、その翌年はシシトウも植えてみたりして、毎年違う野菜作りに挑戦した。

実ができるとうれしくなって味はともかく「おいしい」と喜んで食べていた。

昭和59年8月の新聞にこんな記事がでていた。

「ナス1本の木で400個の実を収穫・・・。栽培方法として、元肥に油粕、糠米ぬか、その他肥料を5層重ねてから植える」とあった。

そのうちトマト作りに重点を置くようになった。自己流を改め園芸店の店員のアドバイスを参考にしたり、本を購入して研究したり錯誤を繰りかえすこと5～6年ようやくいまの上質のトマトを作ることに成功した。

粒はそれほど大きくないが味は濃厚で美味である。

収穫したトマトを近隣、知人に配ったところ大好評だった。

かくて今年も私は美味しいトマトを作るため黙々と畑に向かうのである。

囲碁は頭の体操

職場で趣味の囲碁グループを作ろうと、囲碁愛好家の私ともう1人の仲間M氏の2人が発起人となって皆に呼びかけ、立ち上げたのは1972年冬であった。

当時の私の腕前は自称3級程度、M氏も同程度の力量で、会費を200円ずつ集め、講師として現役を引退している元日本棋院棋士2段にお願いし、毎週土曜日の営業終了後の食堂を利用して始めたのである。こうして集まった人は初心者を含めて約20人で満員盛況であったが碁盤が4面しかなくて順番待ちの状態であった。

そして先生から初心者には、囲碁の最初の「石の置きかた」と一から順次に教えてもらったものである。初心者の人は「なるほど」「面白そうやな」と頷き覚えるのに懸命な様子だった。こうして最初のうちは順調に進んでいたが、授業が段々と進むにつれて少しずつ難しくなっていくと、始めは20人ほど参加してくれた会員も、1人やめ2人去りして半分の10人になってしまった。

そのうち「自分の実力は一体どのくらいか」と思い対局をお願いした。

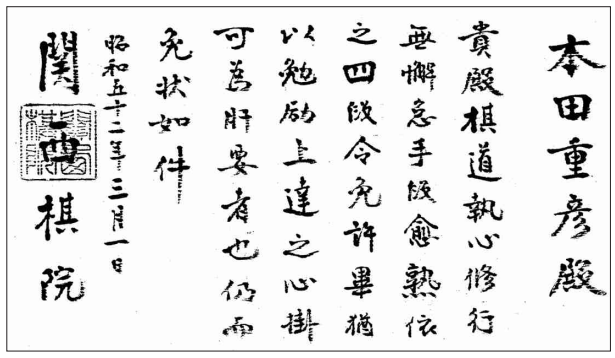
「先生は現役を離れて20年とのこと、自分は昼休みに毎日碁を打っているから、そこそこいけるだろう」との思いで対戦した。

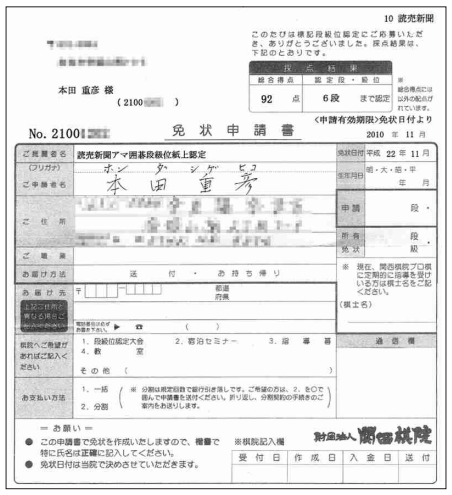
9子局で対局開始、序盤はまずまずだったが現役引退しているとはいえ、院生（プロ入り前の修行生）時代から研究、勉強している人は強く私の大石が包囲され死んでしまった。

翌月の対局も最後まで続かず、中押し

で（途中で投げること）負けてしまった。
そこで先生に「何目で打てれば勝負になりますか？」と聞いてみた。すると先生は「私（プロ）に7子で勝てれば初段と認めますよ」といわれた。
「9子局でも負けるのに先は遠いな」と思い勉強に励むしかなかった。
あるとき先生は囲碁に対する心構えとしてこういわれた。
「囲碁の上達の方法は、打った碁を手直しすることですよ。手直ししなければ何十回碁を打ってもだめです。手直しとは、いま打った碁を最初から並べ直して『この手は悪かった。こう打つべきだった』とか『この手は相手に威圧を与えていない』などいろいろ反省点がでてくるもので、それが血となり肉となって技量の向上へとつながり、上達への早道となるのです。」
そこで初心者クラスの勉強が終わってから、私とM氏とが先生と2面対局（われわれ2人に対し先生1人）し、対局が終わると、いま打った碁を最初から150手ほど並べ直して「この手はこう打つのが正しい」と指摘されると「成程そうか」と感心するばかり。それにしても「自分が打った碁は50手も覚えていないのに、先生は150手もしかも2人の碁を最初からよく覚えておられるとはさすがにプロである」と感心することしきりであった。
かくて2年たち力もついて7子局で待望の勝利を収めることができ、憧れの初段位を獲得することができた。
そして5年後の1977年3月に、四段の免状を取得することができた。45歳の春であった。
3年前の2010年11月には読売新聞のアマ囲碁段級位紙上認定試験に挑戦し六段に合格した。
いまは近隣の囲碁クラブで囲碁大会に出場して余生を楽しんでいる昨今である。

▼ 四段免状





◀ 六段免状

慶事

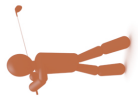


顧問
井関和彦
（昭和36年卒業）
元藤井寺市長

この度春の叙勲で、はからずも旭日小綬章を受章いたしました。5月9日に大阪府庁で松井知事より叙勲の伝達を受け、15日に夫婦共々皇居に参内し、豊明殿で天皇陛下に拝謁させていただき、大変感激いたしております。今振り返って見ますと昭和38年に、柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部消防士を拝命し、平成10年11月に退職するまで35年間勤務させていただき、平成11年5月には地域の人達から推されて藤井寺市長に当選させていただきました。以来2期8年間市長として藤井寺市の繁栄と発展のため努めてまいりました。消防の時には、多くの火災現場や災害現場で住民の生命財産を守るべく活動すると共に、火災予防の普及と防火思想の高揚を計ってまいりました。昭和61年には消防本部長に就任し、より一層複雑多様化する災害に対応するため消防力の増強に努めてまいりました。又平成7年1月17日に発生した阪神淡路大震災では、情報が錯綜する中いち早く応援隊の出動を決断し、1月17日から31日まで延べ34隊137名を派遣し、生存者5名を救出するなど当消防本部隊員も大いに活躍いたしました。市長就任後はこの消防の経験を生かし、災害のない安全な町づくりを進めると共に、障害者や高齢者、又子供達が安心して暮らせる生活環境の整備に務めてまいりました。しかしながらそのほとんどの功績は今までお世話になった消防関係者、市役所関係者並びに、多くの市民の皆様の賜物であり、又先輩をはじめ同窓会の方々のご指導、ご鞭撻のお陰であると心より厚くお礼申し上げる次第でございます。今後共精進努力してまいりますので、よろしくご指導賜りますようお願い申し上げまして挨拶といたします。

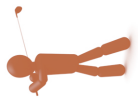
記

勲章名　旭日小綬章
氏　名　井関和彦
卒業年　昭和36年卒業
経　歴　昭和38年柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部消防士拝命
昭和47年同本部総務課長に就任
昭和61年同本部消防長に就任
平成10年11月同本部退職
平成11年5月藤井寺市長に当選
平成19年5月同市長退任



【ゴルフ】（女子）
石山千昌（2年）

- 第34回ＡＬＬ　ＫＡＮＳＡＩテレビアマチュアゴルフ選手権レディースの部優勝
- 「文部科学大臣杯争奪第5回全日本大学・高等学校ゴルフ対抗戦」に出場、3位タイ



【ゴルフ】（男子）
鍋谷太一（1年）

- 「全米オープン1次予選会」出場
- 「2012年日本ジュニアゴルフ協会年間代表選手」に選出



【フィギュアスケート】（男子）
湯浅　諒一（2年）

- 「第62回全国高等学校フィギュアスケート競技選手権大会」に出場、総合14位



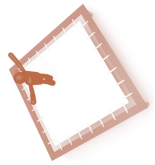
【フィギュアスケート】（女子）
細田采花（3年）

- 「第81回全日本選手権大会」ショートプログラム22位、フリーにて19位
- 「第62回全国高等学校フィギュアスケート競技選手権大会」総合成績に於いては6位



【アイスホッケー】（男子）
田中　聡（1年）

- 「第68回国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会」大阪選抜メンバーとして出場。
- 「西日本高校生（少年）選抜アイスホッケー選手権大会」に選抜メンバーとして出場。



【トランポリン】（女子）
大宮沙梨華（1年）

- 「2012年インドパシフィック大会選考会」個人17才以上女子に出場。5位
- 「2012年トランポリン・インドパシフィック大会」に出場
- 「全国高等学校トランポリン競技選手権大会」
  - ・団体競技　女子の部　第4位
  - ・個人競技　女子の部　出場
  - ・シンクロナイズド競技　出場
- 「インド・パシフィック大会」
  - ・個人競技　第2位
  - ・シンクロナイズド競技　第2位
- 「第40回西日本トランポリン競技選手権大会」
  - ・高校生女子の部　第6位
- 「第49回全日本トランポリン競技選手権大会」女子の部に出場
- 「川崎市長杯争奪2012　国際トランポリン　ジャパン　カップ　兼　ＪＯＣジュニア　オリンピック　カップ」17・18才女子の部　3位



【トランポリン】（女子）
山本葉月（2年）

- 「2012年インドパシフィック大会選考会」個人15～16才女子に出場。3位
- 「2012年トランポリン・インドパシフィック大会」に出場
- 「全国高等学校トランポリン競技選手権大会（インターハイ）」
  - ・団体競技　女子の部　第4位
  - ・シンクロナイズド競技　第2位
- 「第40回西日本トランポリン競技選手権大会」
  - ・高校生女子の部　第6位
- 「第49回全日本トランポリン競技選手権大会」女子の部に出場
- 「川崎市長杯争奪2012　国際トランポリン　ジャパン　カップ　兼　ＪＯＣジュニア　オリンピック　カップ」15・16才女子の部に出場



【サーフィン】（男子）
山中海輝（3年）

- 「ＩＳＡ（国際サーフィン連盟）Ｗｏｒｌｄ　Ｊｕｎｉｏｒ　Ｓｕｒｆｉｎｇ　Ｃｈａｍｐｉｏｎｓｈｉｐ　2012」第17位



【サーフィン】（男子）
河合佐助（2年）

- 「第47回全日本サーフィン選手権」
  - ・ボーイズクラス　出場

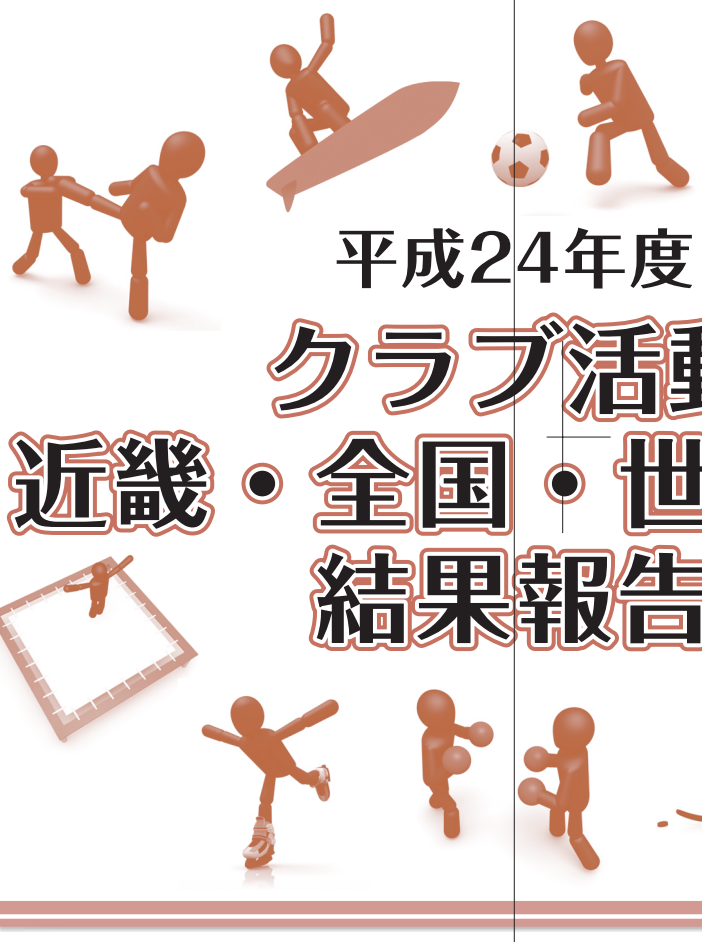


【ダンス】（女子）
三田桃花（1年）

- 「ＦＡＫＥＳＴ香港公演」出場



平成24年度 クラブ活動 近畿・全国・世界 結果報告



【女子ボクシング】

佐伯　霞（1年）

●「第11回全日本女子アマチュアボクシング選手権大会」
・ライトフライ級　優勝

【女子ボクシング】

古川絢菜（2年）

●「全日本アマチュアボクシング選手権大会」　大阪代表（女子）に選出

【女子ボクシング】

千本瑞規（3年）

●「全日本アマチュアボクシング選手権大会」　大阪代表（女子）に選出

【サッカー】（男子）

橋本侑紀（1年）
前川大河（1年）
斉藤和希（1年）
阪本将基（1年）

●「第67回国民体育大会」のサッカー大阪府選手団に選出・全国3位

【空手道部】

■第31回全国高等学校空手道選抜大会
【男子個人形】
優勝　久保弘樹（3年）
【女子団体形】
第3位
【女子個人組手】
ベスト16　小泉咲蘭（3年）

■第1回東アジアジュニア&カデット空手道選手権大会
【ジュニア男子個人形】
優勝　久保弘樹（3年）

■第12回アジアジュニア&カデット空手道選手権大会
【ジュニア男子形】
優勝　久保弘樹（3年）
決勝戦　イランに5対0で勝利

■平成24年度全国高等学校総合体育大会
【男子個人形】
久保弘樹（3年）　優勝
決　勝　○7対0●西内　尊（前橋工業・群馬）
中尾拓実（3年）
2回戦　●1対4○本郷健登（聖ウルスラ学院英智・宮城）
女子団体組手（小泉・北田・梶原・阿部・松井・玉置・八重尾）
2回戦　●1対2○宮崎第一（宮崎）
【女子個人組手】
小泉咲蘭（3年）　ベスト16
4回戦　●再試合○東海志保（嵯峨野・京都）
【女子個人形】
山下紗葵（3年）　第5位
5回戦　●1対4○大矢真未（日大鶴ケ丘・東京）
関本栞莉（3年）
2回戦　●1対4○古澤香寿美（上越総合技術・新潟）

■第32回近畿高等学校空手道大会兼第32回全国高等学校空手道選抜大会近畿地区予選
【女子団体組手】
準優勝
決　勝　●0対2○夙川学院（兵庫）
【男子団体組手】
第5位
4回戦　●1対3○京都外大西（京都）
【女子団体形】
準優勝
決　勝　●3対4○夙川学院（兵庫）
【男子団体形】
準優勝
決　勝　●2対5○県立東灘（兵庫）
【女子個人組手】
八重尾優（1年）　第5位
寺本つづみ（2年）　3回戦（ベスト16）
玉置　薫（1年）　3回戦（ベスト16）
【男子個人組手】
大浦靖矢（1年）　3回戦（ベスト16）
【女子個人形】
佐伯　志帆（1年）　優勝
増尾　美菜（2年）　第3位
【男子個人形】
宮本　侑（2年）　準優勝
大橋　紀浩（2年）　第3位

玩具デザイナー「加藤裕三」軌跡

■軌　跡

1950(昭和25)年9月8日　大阪市阿倍野区昭和町で5人兄弟の末っ子として誕生。

1955(昭和30)年　近所の幼稚園に入園。しかし3ヵ月で自主退園。原因は友人との喧嘩だったと。

1956(昭和31)年　大阪市立長池小学校入学。とにかく遊んだ。べったん、ビー玉、探偵ごっこ、フラフープ、タンクローカード、カンけり。

1962(昭和37)年　大阪市立昭和中学校入学。相変わらず遊んだ。成績はさっぱりで、図工と体育がかろうじて普通。学校の廊下に立たされるのが日課だった。

1965(昭和40)年　成器商業高校入学。なぜか一番苦手な「数」を勉強する学校へ。励ラグビー部に入部し、熱心にクラブ活動に励む。

1968(昭和43)年～1973(昭和48)年　高校卒業後、インテリアメーカーに就職するが3ヵ月で退職。縫製工場で断裁見習いをするがここも続かず。

・デザインの専門学校へ進む資金を作るため、大阪万国博覧会会場の「太陽の塔」建設現場でアルバイト。

・憧れのデザイン学校に入学するが、授業に失望し3ヵ月で退学。

・天王寺美術館のデッサン教室、書、詰めなど、いろんなことに首を突っ込む。

1975(昭和50)年　長野県白馬村のロッジでアルバイトを始める。峯村徹に弟子入り、木彫を習う。

1978(昭和53)年　結婚、独立して帰阪。南米ペルーに旅立つ。

1981(昭和56)年　河崎晃一と出会う。

1982(昭和57)年　『木の仕事展』開催。有限会社「遊プラン」設立。

1983(昭和58)年　山口正也と出会う。浜裕美と出会う。

1986(昭和61)年　西宮公同幼稚園（兵庫県）など遊具制作。

1987(昭和62)年　有限会社「AーZe」神設立。クリコのおまけデザインを始める。神戸リリパットハウスにてショップとアトリエを構える。

1988(昭和63)年　西田明夫と出会う。

1989(平成1)年　芦屋にアトリエを構える。

1990(平成2)年　寺田真理子と出会う。

1992(平成4)年　神戸海洋博物館で『海のおもちゃ箱』展モニュメント制作。

1993(平成5)年　神戸海洋博物館『潜艦飾の神戸』展で自動人形劇場「コーベメリケンズ座」制作。

1つ100円クリコおまけデザイン修了。西アフリカ・マリ共和国ドゴンの村を訪れる（1回目）。

1995(平成7)年　阪神・淡路大震災で被災。

NHK『人間マップ・おまけのおもちゃに夢をのせて』に出演。

1996(平成8)年　「産經新聞」夕刊に『モダンシティ大阪　街のデザインの記憶』連載。

1997(平成9)年　愛知県総合児童センター『夏休み遊びのためのプログラムコンペ』受賞。西アフリカ・マリ共和国ドゴンの村を訪れる（2回目）。『もののつくり絵本・はりがねでらくがき』を制作。

1998(平成10)年　創作玩具公募展・準グランプリ受賞。100円クリコ／木のおもちゃシリーズ発売開始。

1999(平成11)年　『西田明夫・加藤裕三からくり人形展』開催。

2000(平成12)年　有馬にトイズショップ「アリマリオープン」。

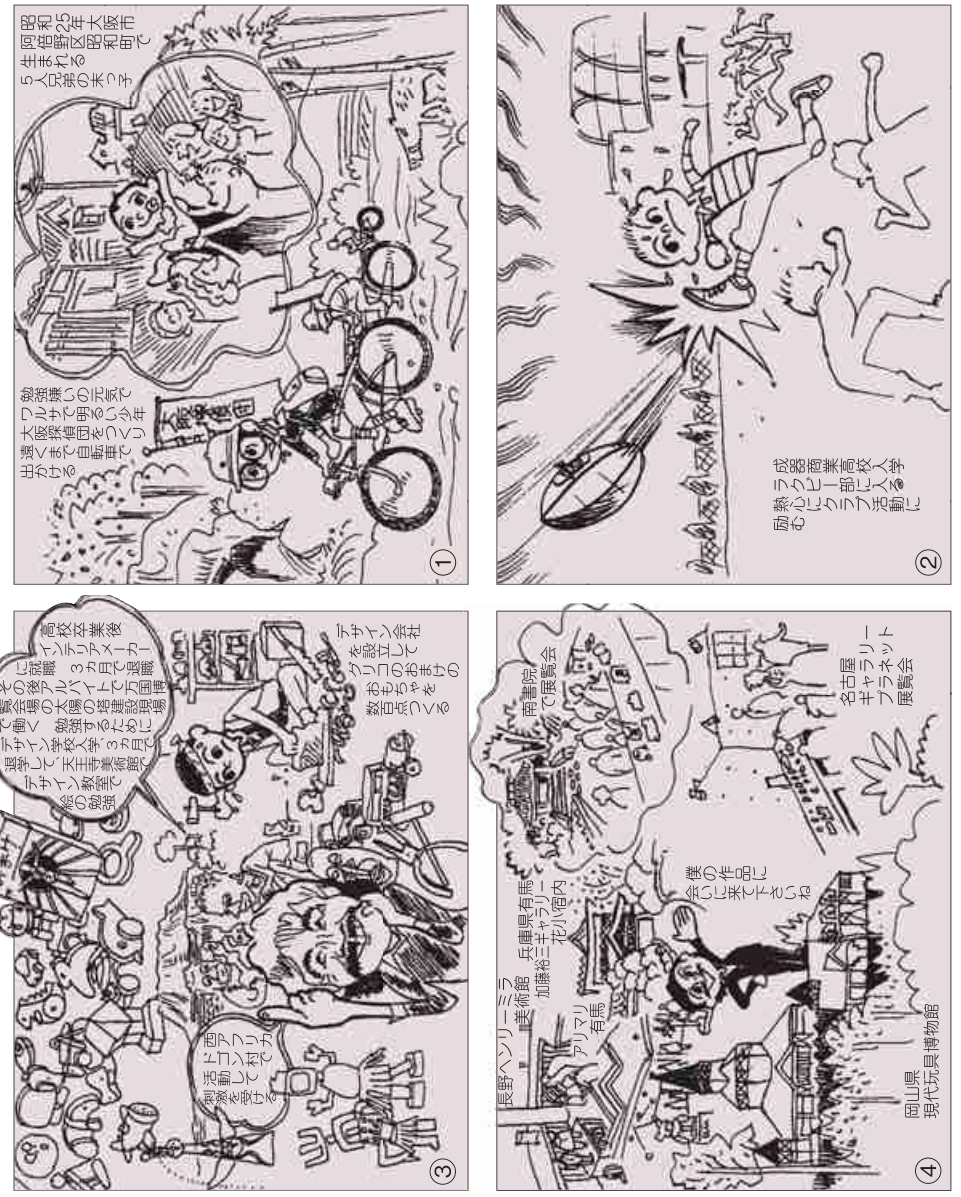
テレビ東京『TVチャンピオン』に出演。準優勝。

2001(平成13)年2月　病気発覚入院。

3月　スイスの玩具メーカー、ネフ社のコーディネーターをつとめた。

5月5日　他界。

クリコおまけデザインで一躍有名人となる



年会費納入のお願い

今年、学園創立百十周年を迎えます。我が母校は32,000名を越す卒業生が居り、内連絡の取れる方が16,000名以上に至ります。各界で多数の卒業生が活躍しておられます。

我が同窓会の収支計算書を見ますと、会費納入者の少ない事にお気付かと思います。「会員相互の親睦をはかるとともに、母校の発展に寄与することを目的とする」と、会則・第3条にあります。その目的達成の為、役員一同は日頃懸命に努力しております。不行き届きの点多々あると思われますが何卒ご寛容下さい。

同窓会は勿論、会員皆さんの会費で運営されております。年間3,000円の会費です。出費の多い事、又邪魔臭い事などいろいろな事情は有るかと思いますが、何卒ご協力頂きます様をお願い申し上げます。

年会費納入者ご芳名録

平成24年4月1日以降平成25年3月31日までの受付分88名、金267,000円也の温かいご協力を戴き深く感謝の意を表し、ここにご芳名を揚げ厚く御礼申し上げます。

（敬称略・到着順）

吉野　安孝（昭和19年卒）
衣斐　雅一（昭和50年卒）
村井　裕弥（平成20年卒教職員）
川原　実（昭和46年卒）
井上　隆二郎（昭和20年卒）
朝田　隆義（昭和30年卒）
石井　保夫（昭和31年卒）
松村　光三（昭和34年卒）
水野　建樹（昭和34年卒）
平野　忠昭（昭和37年卒）
谷口　隆（昭和39年卒）
澤﨑　市郎（昭和40年卒）
松田　和人（昭和41年卒）
井上　佐治朗（昭和42年卒）
平松　輝義（昭和19年卒）
松下　長史（昭和19年卒）
藤井　昭三（昭和22年卒）
田仲　弘義（昭和22年卒）
峯　憲一（昭和31年卒）
中西　徳昭（昭和37年卒）
廣田　直久（昭和37年卒）
髙田　和明（旧教職員）
武江　栄太郎（昭和28年卒）
岡本　利雄（昭和41年卒）
中野　孝雄（昭和43年卒）
柳川　武史（昭和54年卒）
鈴木　克爾（旧教職員）
鳥居　憲一（昭和40年卒）
杉永　正彦（昭和45年卒）
小原　泰次（昭和58年卒）
藤浪　香奈子（平成22年卒）
霜野　美沙子（平成23年卒）
松本　誠一郎（昭和59年卒）
大橋　秀志（昭和34年卒）
福永　勝（昭和35年卒）
南浦　喜久雄（昭和40年卒）
中西　貞明（昭和40年卒）
石田　佳志（昭和52年卒）
美馬　徳次（昭和41年卒）
吉岡　修三（昭和44年卒）
中川　善夫（昭和44年卒）
落合　直行（昭和17年卒）
三輪　周一（昭和35年卒）
内海　春樹（昭和36年卒）
平野　正治（昭和41年卒）
北島　信雄（昭和31年卒）
仲西　晃（昭和31年卒）
鈴木　清（昭和44年卒）
山田　能生（昭和19年卒）
上田　修三（昭和36年卒）
菊地　耕作（昭和43年卒）
本田　重彦（昭和25年卒）
山田　収（昭和36年卒）
大橋　正輝（昭和42年卒）
市岡　奨（昭和20年卒）
大給　祥二郎（昭和19年卒）
安岡　幸次郎（昭和24年卒）
森居　保行（昭和24年卒）
三村　正始（昭和31年卒）
奥田　勝典（昭和31年卒）
西野　仁彦（昭和33年卒）
高橋　剛（昭和33年卒）
吉田　秀勝（昭和25年卒）
吉田　圭一郎（昭和59年卒）
西川　弘史（昭和41年卒）
仲西　邦雄（昭和37年卒）
岡崎　義磨（昭和33年卒）
川中　信行（昭和36年卒）
西村　貴博（旧教職員）
井原　靖二（昭和37年卒）
八尾　博（昭和44年卒）
奥原　廣行（昭和44年卒）
山本　達郎（昭和34年卒）
芦阪　伸二（昭和46年卒）
上田　健（昭和42年卒）
足立　好一（昭和62年卒）
森島　春夫（昭和62年卒）
谷口　誠亮（昭和33年卒）
前田　敬一（昭和30年卒）
二ノ井　清廣（昭和30年卒）
数田　政宏（昭和50年卒）
上野　寅次郎（昭和39年卒）
米田　耕作（昭和39年卒）
髙田　良造（昭和23年卒）
櫻井　良一（昭和43年卒）
河口　通泰（昭和30年卒）
甘佐　勝（昭和37年卒）
岡本　利雄（昭和41年卒）

平成25年度
同窓会募金にご支援とご協力お願い

同窓会の皆々様におかれましては、益々ご健勝のことと存じ上げます。

平素は、大阪学芸高等学校同窓会《通称（成器会）》に対し、温かいご支援を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。

この募金にご協力頂きました方々のご芳名を次頁に記載させて頂きました。ここに改めて深く感謝の意を表します。

既に今年は、大胆な金融緩和を求める安倍晋三首相提唱の経済政策「アベノミクス」は市場での「期待」を高め、円安と株高をもたらし景気や物価に影響しそうな量的緩和に伴うものである。その円安を過去の15年間のうち二度あった2年間程度の円安期でもデフレが続いている現状である。

最終的には全体の雇用や勤労者所得にしわ寄せされデフレが雇用や所得を減らす結果、需要が縮小し、更にデフレが進行するという悪循環は2年程度の円安では解消しきれない。其の為にも更なる組織を強化するため引き続き学校側のご協力を頂き、母校と同窓生との絆をしっかりと結びつけ、可能な限り募金活動を続けて実施致します。この会報を同窓生にお届けすることで、母校への関心を高め、この趣旨にご賛同頂き、一人でも多くの皆様がこの募金にお志をお寄せ下さいますよう格別のお力添えをお願いしたいと考えております。

平成8年度からは、年会費もお願いし、これからも自助努力で会報の発行を継続するため同窓会各位の積極的なご支援、同窓会活動の活性化、財政の健全化及び会報継続発行等々に資するため、何卒ご理解を賜り、ご協力、ご支援の程、宜しくお願い申し上げます。

副会長　田中敏文

募金方法　一口一万円口数制限なしで（ただし事情により一口単位に達しない場合にも喜んで）お受け致します。

※お振込は下記に記載の通りです。

温かいご寄付に感謝します
寄付金応募者ご芳名録

平成24年4月1日以降平成25年3月31日までの受付分22名、金154，222円也の温かいご協力を戴き深く感謝の意を表し、ここにご芳名を揚げ厚く御礼申し上げます。

（敬称略・到着順）

井上隆二郎（昭和20年卒）
松村光三（昭和34年卒）
平野忠昭（昭和37年卒）
井上佐治朗（昭和42年卒）
平松輝義（昭和19年卒）
藤井昭三（昭和20年卒）
武江栄太郎（昭和28年卒）
鳥居憲一（昭和40年卒）
柴田泰三（昭和36年卒）
南浦喜久雄（昭和35年卒）
石田佳志（昭和52年卒）
落合直行（昭和17年卒）
仲西晃（昭和31年卒）
山田修三（昭和36年卒）
西野仁彦（昭和34年卒）
川原実（昭和46年卒）
高橋剛（昭和63年卒）
川中信行（昭和36年卒）
芦阪伸二（昭和46年卒）
二ノ井清廣（昭和30年卒）
数田政宏（昭和50年卒）
髙田良造（昭和23年卒）

学園関係物故者
慰霊碑管理基金のご協力お願い

学園創立100周年を記念して、同窓会が森寛紹師先輩の高野山普賢院が管理する墓地に学園関係物故者慰霊碑を建立致しました。

一旦建立した限り、その趣旨、目的を永く残す為、維持管理しなければなりません。その為の資金が必要になってまいります。

既に納骨を済ませられた方、又将来納骨を希望されている方が居られます。

その様な事で、永遠に維持管理して行く必要があります。

同窓会としては、毎年8月の第1日曜日に慰霊碑参拝の行事を行い物故者の御霊を供養しております。どうぞ多数の会員皆さんのご参加をお願い致します。管理基金1口1万円となっておりますが、いくらでも結構です。有り難く御芳志頂きます。なお、10万円以上の寄付者には、ご芳名を刻し、慰霊碑建立場所に標記致します。ご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

慰霊碑管理基金
寄付者ご芳名録

平成24年4月1日以降平成25年3月31日までの受付分9名、金343，778円也の温かいご協力を戴き深く感謝の意を表し、ここにご芳名を揚げ厚く御礼申し上げます。

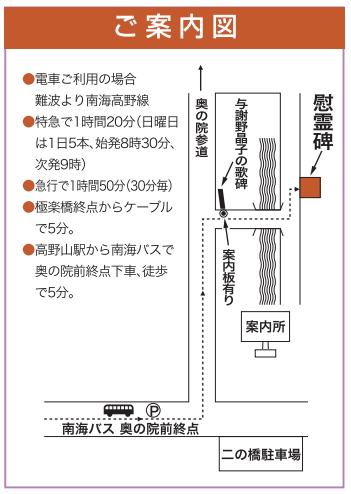
（敬称略・到着順）

川岸春夫（旧教員）
川岸由紀子（旧教員の奥様）
髙田和明（旧教職員）
武江栄太郎（昭和28年卒）
大橋秀志（昭和41年卒）
山田修三（昭和36年卒）
吉田秀勝（昭和25年卒）
芦阪伸二（昭和46年卒）
衣斐雅一（昭和50年卒）



慰　霊　碑

ご案内図



お申し込み方法

振込み用紙は、送付された郵便局の払込取扱票（赤字印刷）を使用されるか、郵便局に備え付け用意されている払込取扱票用紙（青字印刷）をご使用下さい。青色印刷の払込用紙ご使用の際は、振込手数料を差引いてお振込みください。なお、振込手数料は郵便局職員にお尋ね下さい。

［郵便局］
・口座番号　00900-1-7923
・加入者名　大阪学芸高等学校同窓会（成器会）

訃報

ご逝去の通知を頂いた方々のご冥福をお祈りするとともに同窓生各位にお知らせします。

（敬称略・届出順）

御存名	卒業期	死亡年月日
浅井直司	（昭和36年卒）	（平21・2・11）
大畑邦夫	（昭和36年卒）	（平22・10・9）
藤原聡吉	（昭和36年卒）	（平22・4・3）
梶原久幸	（昭和24年卒）	（平24・12）
上間修	（昭和48年卒）	（平24・10）
田畑功	（昭和20年卒）	（平24）
川村三郎	（昭和16年卒）	（平24・11）
西川富雄	（昭和18年卒）	（平23・6）
角谷通昌	（昭和28年卒）	（平23・1・末）
池下順三	（昭和19年卒）	（平23・11・11）
上阪順造	（昭和8年卒）	（平23・11・9）
尼川龍三	（昭和31年卒）	（平23・9・28）
新山芳豊	（昭和21年卒）	（平24・5・18）
吉村幸男	（昭和20年卒）	（平21・2・11）

平成25年度の行事予定・26年総会及び懇親会を左記の通りご案内申し上げます。

学園は現在の大幅な組織改編を実施し、更なる魅力ある学校づくり及び同窓会のご報告等詳しくお聞き頂けると思います。

つきましては、同窓会のお知り合いの方々をお誘い下さいまして、万障お繰り合わせの上、多数ご出席を頂けます様お願い申し上げます。

平成25年度行事予定・26年総会及び懇親会のご案内

●高野山普賢院一泊と慰霊碑参拝・野迫川温泉旅行

平成25年8月3日（土）～4日（日）
（3日（土）に現地普賢院に5時集合）
※日帰りコースは難波午前8時発こうや号に乗車。
慰霊碑前に10時10分に集合、詳しくは担当者にお聞き下さい。

●秋季懇親会（参加人数により場所・時間を変更する場合があります。）

平成25年11月16日（土）
（場所…ニューミュンヘン南大使館）5時～

●総会及び懇親会（参加人数により場所・時間を変更する場合があります。）

平成26年6月上旬
（場所…道頓堀ホテル）4時30分～総会　6時～懇親会

※右記諸行事に参加ご希望の方には案内状を送付させていただきますので卒業期・年度・住所・ご貴名・TEL・FAX等ご記入の上、左記の所にお送り下さい。（本年度も葉書を同封しておりません）

宛先　〒五五八－〇〇三
大阪市住吉区長居一－四－一五
大阪学芸高等学校同窓会（成器会）
TEL　〇六（六六九三）六三〇一
FAX　〇六（六六九三）五一七三

平成24年度　決算報告

会計　川原　実

平成24年度　収支計算書

（自　平成24年4月1日～至　平成25年3月31日）

収入の部　　単位：円

収入科目		実算額	予算額	予算比増減
経常収入	会費	2,395,000	2,400,000	-5,000
	年会費	267,000	600,000	-333,000
	寄付金(募金)収入	154,222	400,000	-245,778
	広告収入	40,000	300,000	-260,000
	計	2,856,222	3,700,000	-843,778
経常外収入	慰霊碑管理基金収入	343,778	400,000	-56,222
	雑収入	597	500	97
	特別会計剰余金	34,227	200,000	-165,773
	計	378,602	600,500	-221,898
資産収入	受取利息	402	200	202
	計	402	200	202
財務収入	未払金	0	0	0
	預り金	0	0	0
	計	0	0	0
収入計		3,235,226	4,300,700	-1,065,474
基金取崩				
前年度繰越金		3,109,941	3,109,941	0
合計		6,345,167	7,410,641	-1,065,474

支出の部　　単位：円

支出科目	実算額	予算額	予算比増減
総会費	67,200	100,000	-32,800
慶弔費	30,000	50,000	-20,000
寄贈費	33,610	150,000	-116,390
記念品費	76,800	80,000	-3,200
印刷費	543,605	1,100,000	-556,395
通信費	261,302	1,200,000	-938,698
慰霊碑管理費	0	100,000	-100,000
支払手数料	57,206	510,000	-452,794
広告宣伝費	20,000	40,000	-20,000
会議費	3,675	30,000	-26,325
事務用品費	48,532	60,000	-11,468
旅費交通費	9,860	20,000	-10,140
消耗品費	25,674	10,000	15,674
租税公課	80	100	-20
会合費	43,100	150,000	-106,900
雑費	131,450	40,000	91,450
予備費	0	100,000	-100,000
財務支出 預り金	0	0	0
支出計	1,352,094	3,740,100	-2,388,006
基金組入	0	0	0
次年度繰越金	4,993,073	3,670,541	1,322,532
合計	6,345,167	7,410,641	-1,065,474

会報「学芸」第18号

このたびは広告にご協力賜りまして誠にありがとうございます。学園と同窓生とを結ぶ会報「学芸」がより豊富な内容で末永く発刊出来ますよう、今後も広告の掲載にご協力の程よろしくお願い申し上げます。

丸善電機産業株式会社
常務取締役 橋本浩行
（高校(普)18期生・昭和56年卒業）
本　社
〒547-0033　大阪市平野区平野西1丁目2番6号
TEL(06)6797-1133(代)　FAX(06)6797-1137
丸善電機(昆山)有限公司
中国江蘇省昆山市蓬朗鎮昆嘉工業区通銘路20号
TEL0512-5761-8711　FAX0512-5761-7917
URL http://www.magnix.co.jp

仕出し料理専門店
株式会社 彩味（さいみ）
取締役会長 平野正治
代表取締役 平野政則
〒559-0002
大阪市住之江区浜口東2-7-14
TEL 06-6675-9251
高校13期 昭和36年卒業

家族葬・法事専門会館
日の出会館
彩味聖天坂店
（阪堺線聖天坂駅前）
〒557-0042
大阪市西成区岸里東1-1-14
TEL 06-6652-4772

仕出し料理専門店
株式会社 日の出庵
取締役会長 平野正治
代表取締役 平野剛
〒551-0013
大阪市大正区小林西2-4-1
TEL 06-6651-3344

祝110周年
2013.7.27(土)
PM6:00
第15回成器サンキュー会

税務・労務・法律・行政をはじめ
中小商工業者のあらゆる相談は…
全中連協同組合 大阪中小企業経営センター
理事長 和田貞夫
成器会 名誉会長
（大阪学芸顧問・1部39期・昭和19年卒業）
〒590-0953　堺市堺区甲斐町東4丁1番10号
TEL(072)221-5115　FAX(072)221-5055
E-mail keiei@mbl.kisweb.ne.jp
URL http://www.kisweb.ne.jp/keieicenter

ガス & 水道
住之江ガスセンター(有)仲西商店
代表取締役　仲西　晃
大阪学芸高等学校同窓会(成器会)会長
（学校法人大阪学芸顧問・高校8期・昭和31年卒業）
ガスふろ給湯器・ガス器具全般・ガス工事
水洗トイレ器具全般・洗面化粧台・水道工事
システムキッチン&バス・リフォーム工事
〒558-0033 大阪市住吉区清水丘2-32-25
電話06-6672-4126（ヨイフロ）　FAX06-6673-4870



いづみや 岡本鉄工
代表取締役 岡本利雄
（学校法人大阪学芸理事長・昭和41年卒業）
大阪市平野区瓜破南2丁目1番32号　TEL06-6707-6987

年金・労務などの御相談は
社会保険労務士 藤井昭三
［元大阪府議会議員
2部 昭和20年卒業 成器会顧問］
〒572-0005　寝屋川市成田西町16－2
TEL 072-833-8585　FAX 072-833-8586

ネットショップ
レザー・毛皮の卸専門店 Girasol
URL:http://www.rakuten.co.jp/gold/girasol/
代表取締役 南　和彦
（高校16期・昭和39年卒業）
ショップ ブティック ヒラソル
〒541-0055 大阪市中央区船場中央2丁目1番地
船場センタービル 4号館 1階 南通り
TEL.FAX : 06-6268-5158

足立硝子株式会社
・〒556-0006 大阪市浪速区日本橋東2丁目2-6
TEL.大　阪(06)6643-0335
FAX.　(06)6643-5677
・〒452-0001 愛知県清須市西枇杷島町古城2-4-3
TEL.名古屋(052)506-7505
FAX.　(052)506-1633
H.P　090-3030-0897
U R L　http://www.adachiglass.co.jp
E-mail　adachi@adachiglass.co.jp
代表取締役会長 足立好一
（高校1期・昭和24年卒業）
学校法人大阪学芸顧問・成器会副会長

株式会社 松本建材
松本静夫
（昭和35年卒業）
〒558-0011 大阪市住吉区苅田8-12-22
電話　06-6698-7989

INOUE
代表取締役
井上雅雄
MASAO INOUE
株式会社　井　上
■本　社　〒545-0032 大阪市阿倍野区晴明通2-7
TEL 06-6652-2750 FAX 06-6658-0025
Mail inoue-cement22@gol.com
■姫路営業所　〒670-0975 姫路市中地南町144番地
TEL 079-243-0077 FAX 079-243-0151
■物流倉庫　〒552-0022 大阪市港区海岸通2-3-29
TEL 06-6573-7202 FAX 06-6573-7202

鉄・ステンレスパイプ　切断専門
環境に優しい商品の取り扱い
食品衛生管理でお困りの方
ご一報下さい。
西野パイプ株式会社
代表取締役 西野仁彦
（高校11期・昭和34年卒業）
TEL(072)255-0803　FAX(072)255-0804
e-mail nishino-paipu@mbi.nifty.com
インターネットショップ(West Field)
http://w-field.b-smile.jp/

美術印刷・紙器製品
企画・提案・製作
株式会社 ヒラックス
代表取締役 上野寅次郎
（成器会副会長・高校9期・昭和32年卒業）
〒581-0012　大阪府八尾市小阪合町1-2-15
TEL(072)929-8739　FAX(072)929-8737
E-mail:hilux@axel.ocn.ne.jp

社団法人/全国宅地建物取引業保証協会
社団法人/大阪府宅地建物取引業協会
宅建免許/大阪府知事(3)第48749号
有限会社 朝日プランニング
代表取締役 衣斐雅一
（高校27期・昭和50年卒業）
〒545-0043　大阪市阿倍野区松虫通2-8-9
TEL(06)6655-6774　FAX(06)6655-6775
asahi0829@clock.ocn.ne.jp

大阪学芸中等教育学校
大阪学芸高等学校　指定業者
有限会社 オオサカユニフォーム
大阪学芸　売店
取締役　北村裕次
yuji.kitamura@osaka-uniform.com
(高校(普)25期生・昭和63年卒)
本　社　〒558-0001　大阪市住吉区大領2-6-27
TEL:(06)6695-3929　FAX:(06)6693-9716
大阪学芸売店
TEL:(06)6695-1599　FAX:(06)6693-5855
堺本店　〒599-8274　堺市中区宮園町2-12
TEL:(072)279-2705　FAX:(072)279-9298

■表紙絵及びイラスト　作家プロフィール

はら　たくみ（原　琢三）

イラストレーター・日本グラフィックデザイナー協会会員
各界で活躍中

※表紙イラストと漫画は玩具デザイナー「故加藤裕三氏」(1950)昭和25年9月8日大阪市阿倍野区昭和町で生誕。(1968)昭和43年成器商業学校卒業。グリコおまけデザインで一躍有名となる。彼の生い立ちと軌跡を描いた作品です。(20P参照下さい)江崎グリコはキャラメル「グリコ」の歴史を紹介する江崎記念館(大阪市)でキャラメルの古い商品パッケージ広告などが陳列されています。産経新聞平成25年5月30日付の朝刊に掲載。